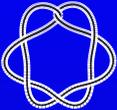
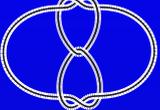
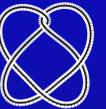
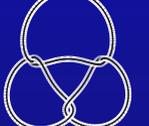


# 結び目の数学

今井 淳

首都大学東京

unknot		0	$7_2$		190.3	$8_1$		217.4	$8_5$		234.0
$3_1$		70.4	$7_3$		192.7	$8_3$		220.9	$9_1$		234.6
$4_1$		104.9	$8_{19}$		197.0	$8_2$		224.1	$8_{12}$		235.1
$5_1$		126.8	$7_4$		197.7	$8_4$		226.2	$8_{13}$		237.9
$5_2$		134.6	$7_5$		199.7	$8_6$		228.6	$8_{10}$		238.7
$6_1$		162.8	$7_6$		203.7	$8_7$		231.3	$8_{14}$		238.7
$6_2$		168.5	$8_{20}$		203.9	$8_8$		232.4	$8_{15}$		243.1
$6_3$		172.9	$7_7$		207.1	$8_9$		233.2	$8_{16}$		264.5
$7_1$		181.0	$8_{21}$		209.5	$8_{11}$		233.7	$8_{17}$		265.1

# 目次

- 結び目とその仲間たちと数学
  - 生活の中の結び目、絡み目、組み紐
  - 数学で扱う結び目
  - 2つの結び目が同じとは？
  - 超簡単な歴史

# 目次

- 結び目とその仲間たちと数学
  - 生活の中の結び目、絡み目、組み紐
  - 数学で扱う結び目
  - 2つの結び目が同じとは？
  - 超簡単な歴史
- 結び目不変量
  - 同値関係と不変量
  - ジョーンズ多項式

# 目次

- 結び目とその仲間たちと数学
  - 生活の中の結び目、絡み目、組み紐
  - 数学で扱う結び目
  - 2つの結び目が同じとは？
  - 超簡単な歴史
- 結び目不変量
  - 同値関係と不変量
  - ジョーンズ多項式
- 他の分野との係わり
  - 幾何、(3次元)多様体論
  - 生物 (DNA)、高分子科学

# 生活の中の結び目 (の仲間)

● 実用：

# 生活の中の結び目 (の仲間)

- 実用：船乗り、アウトドア、(西部劇の銀行強盗)

# 生活の中の結び目 (の仲間)

- 実用：船乗り、アウトドア、(西部劇の銀行強盗)
- 装飾用：

# 生活の中の結び目 (の仲間)

- 実用：船乗り、アウトドア、(西部劇の銀行強盗)
- 装飾用：ネクタイ、水引、リボン、紋章、shoulder knot、組み紐

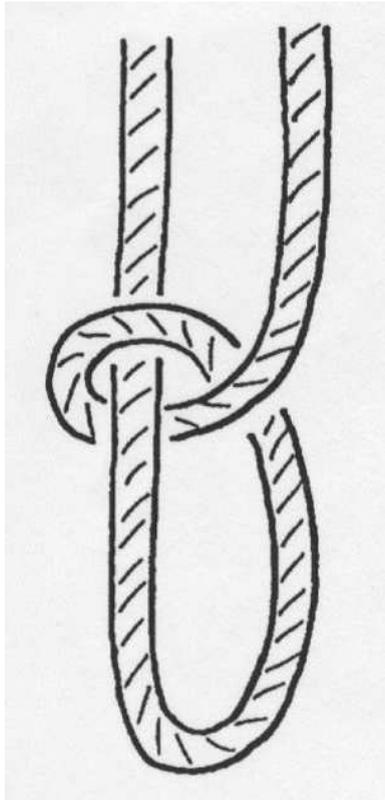
# 生活の中の結び目 (の仲間)

- 実用：船乗り、アウトドア、(西部劇の銀行強盗)
- 装飾用：ネクタイ、水引、リボン、紋章、shoulder knot、組み紐
- 言葉：

# 生活の中の結び目 (の仲間)

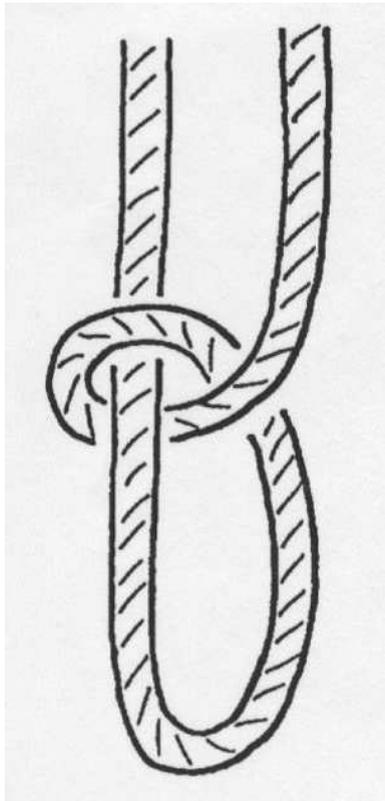
- 実用：船乗り、アウトドア、(西部劇の銀行強盗)
- 装飾用：ネクタイ、水引、リボン、紋章、shoulder knot、組み紐
- 言葉：結びの一番、ノット (船の速さ)、cut the Gordian knot, nodo d'amore

# 結び目の例～名前をついた結び目

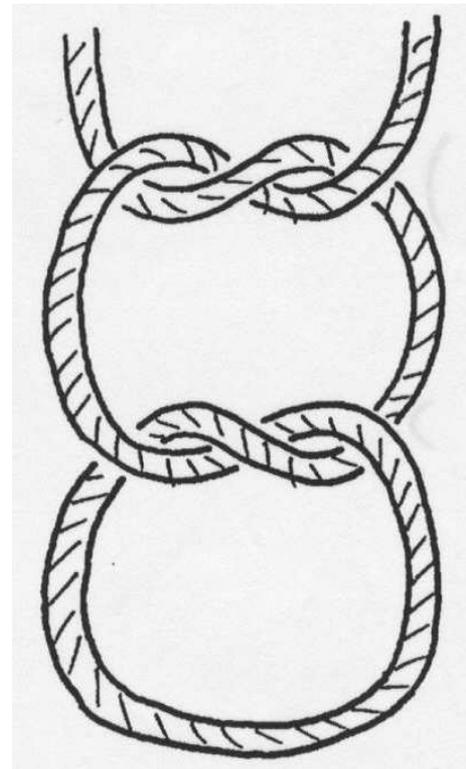


half hitch

# 結び目の例～名前をついた結び目

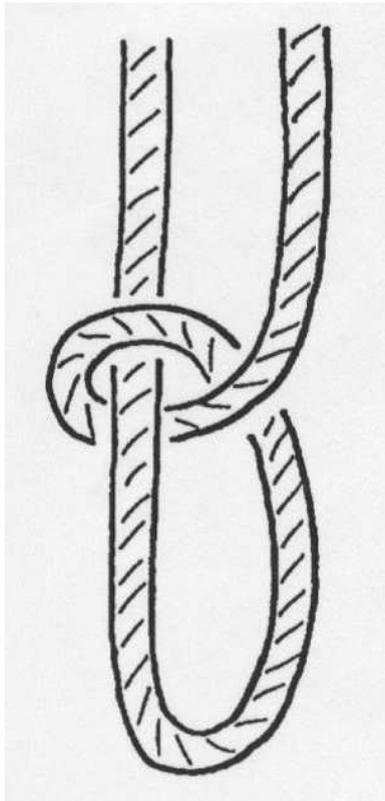


half hitch

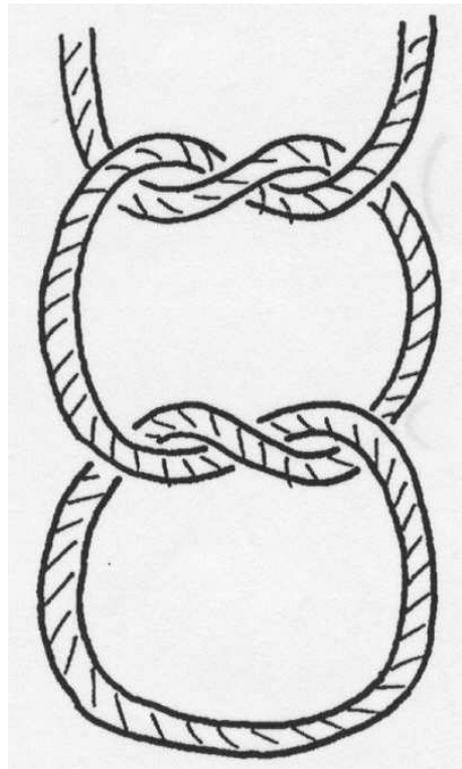


square knot,  
reef knot  
(ま結び)

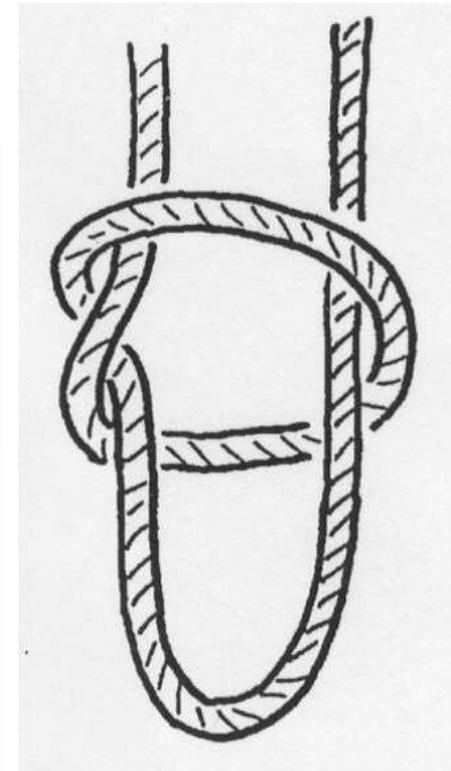
# 結び目の例～名前をついた結び目



half hitch

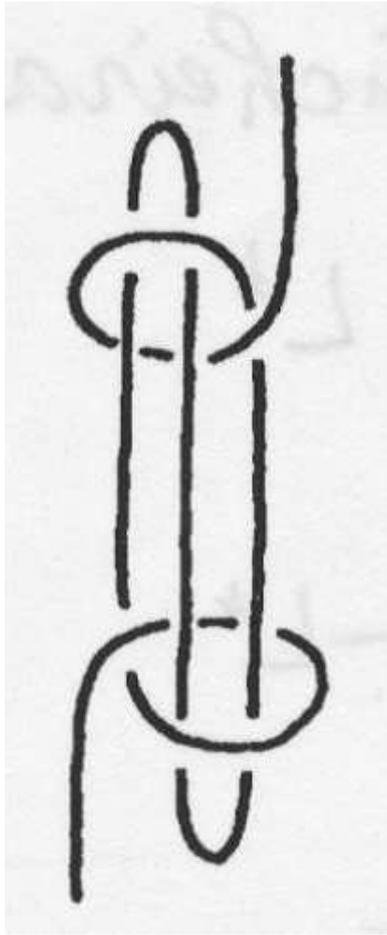


square knot,  
reef knot  
(ま結び)



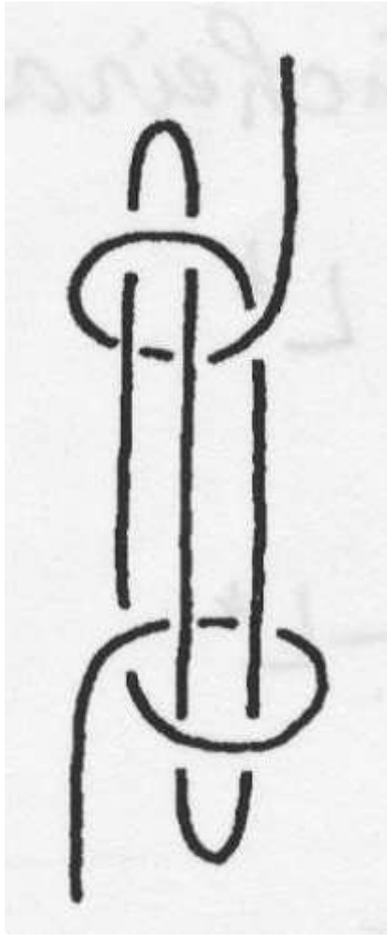
running knot

# 結び目の例～実用、および装飾用

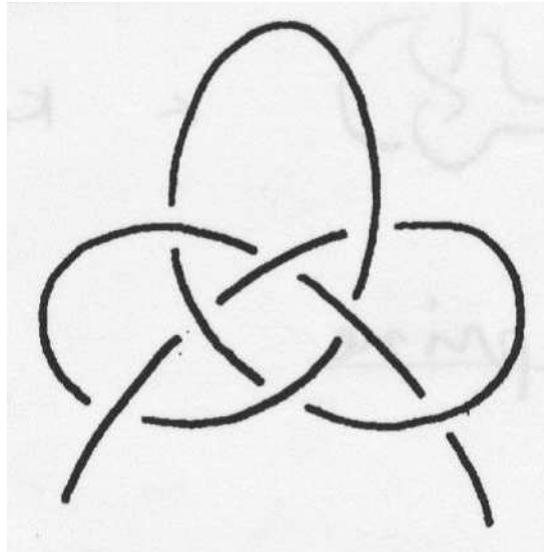


sheep shank

# 結び目の例～実用、および装飾用

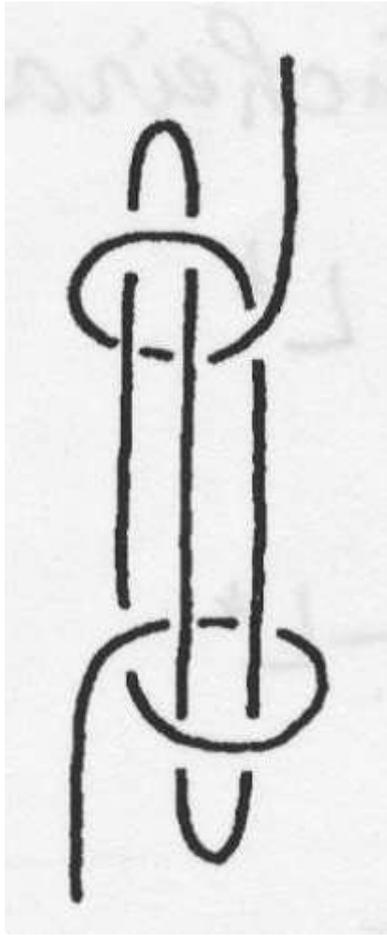


sheep shank

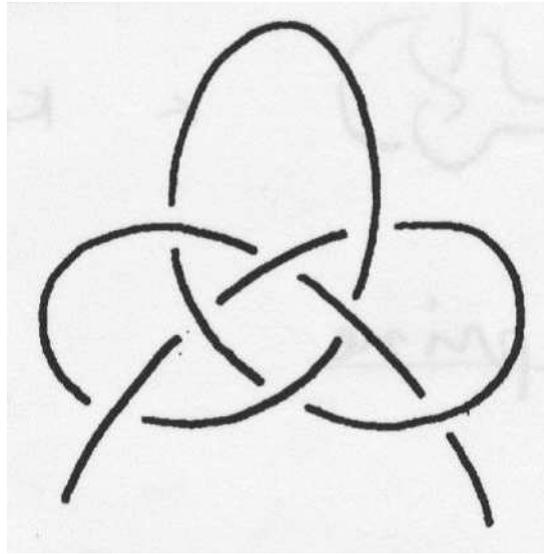


あわび結び

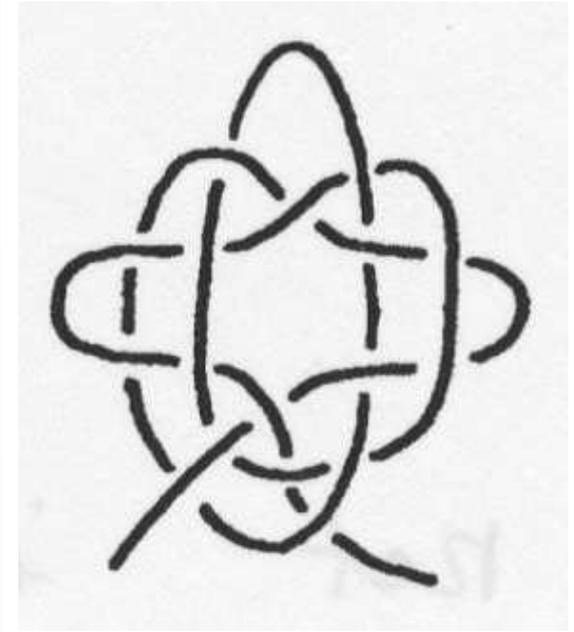
# 結び目の例～実用、および装飾用



sheep shank

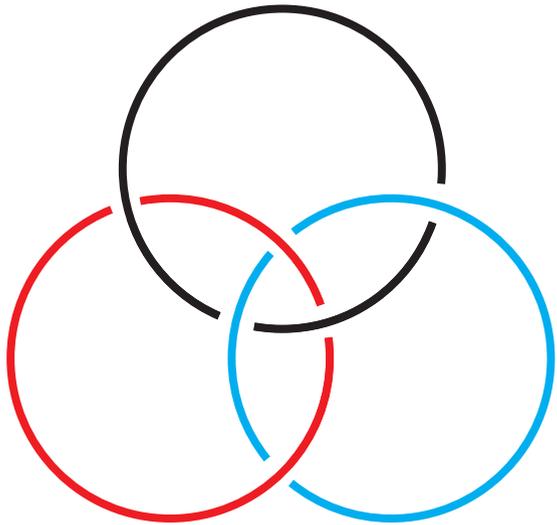


あわび結び



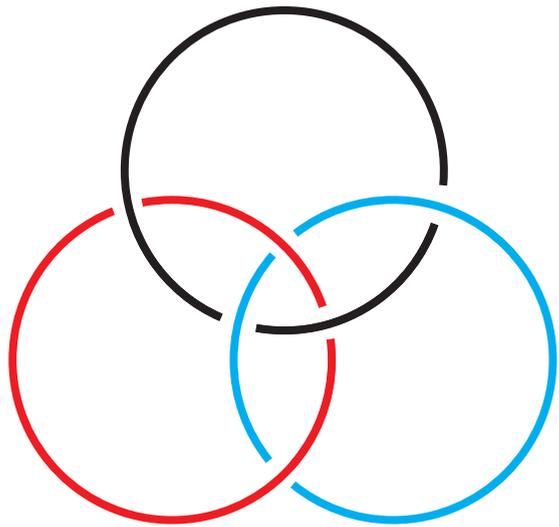
華鬘結び

# 結び目の仲間たち

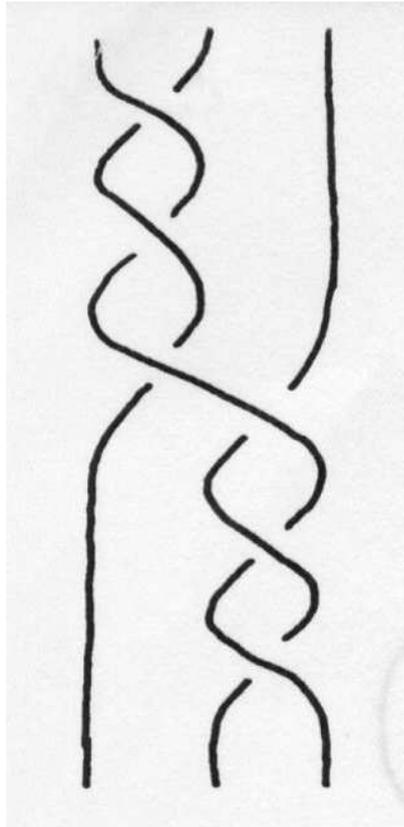


ボロミアン・リンク

# 結び目の仲間たち

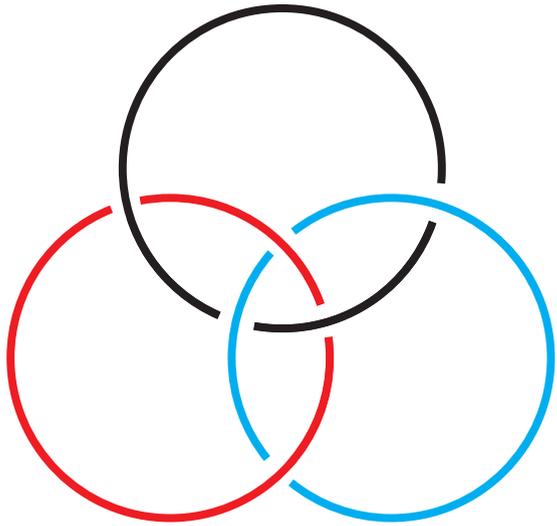


ボロミアン・リンク

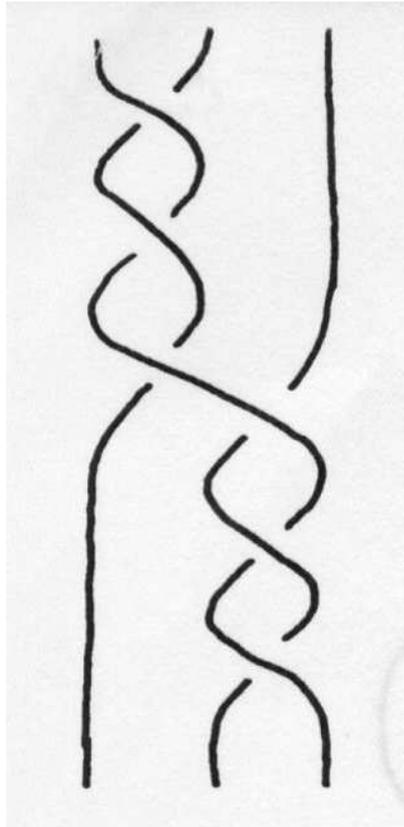


組み紐

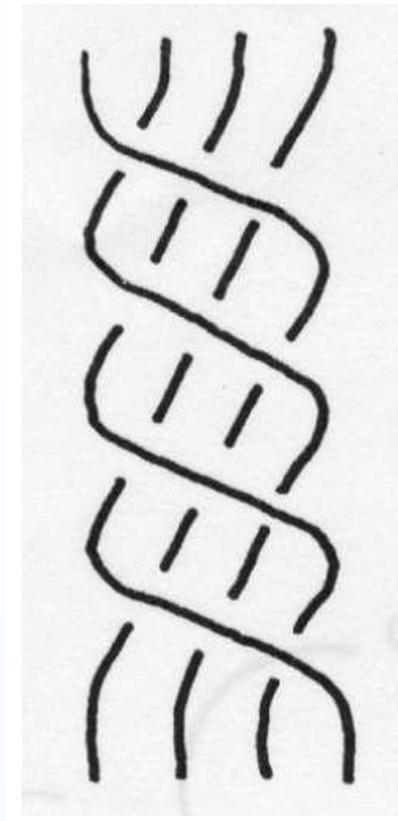
# 結び目の仲間たち



ボロミアン・リンク

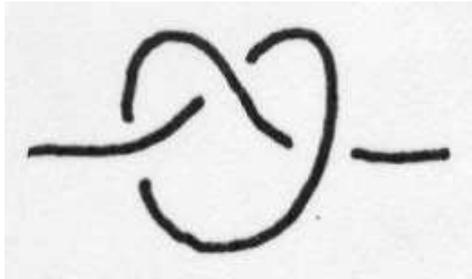


組み紐



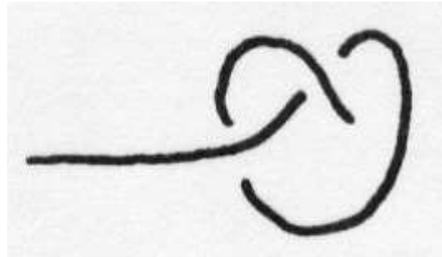
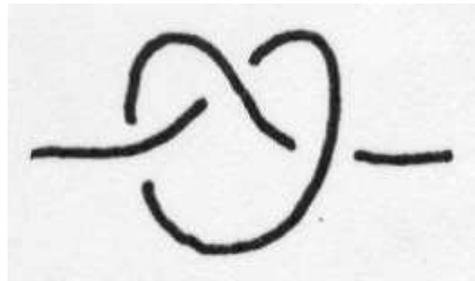
(pure) braid

# 数学で扱う結び目



結んでいる

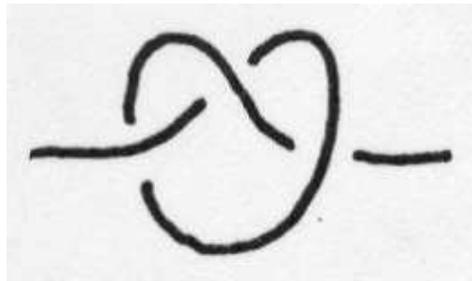
# 数学で扱う結び目



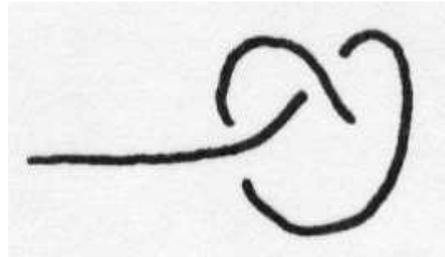
結んでいる

右端を短くしていく

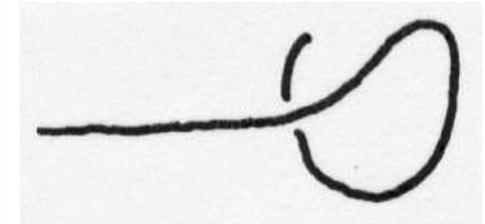
# 数学で扱う結び目



結んでいる

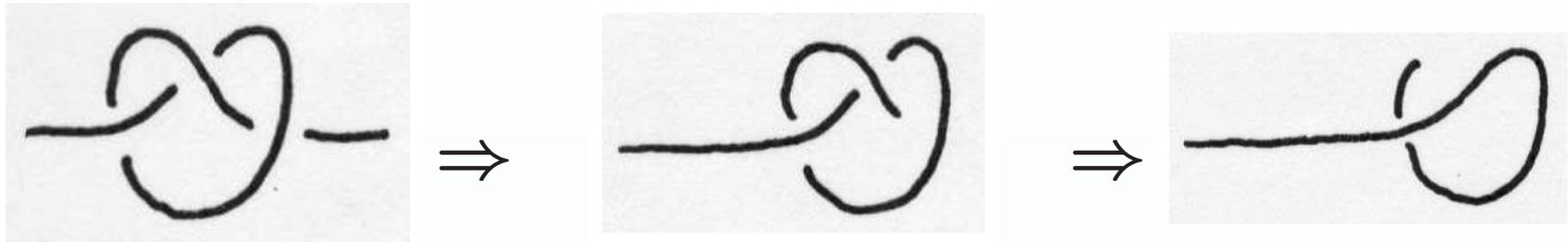


右端を短くしていく



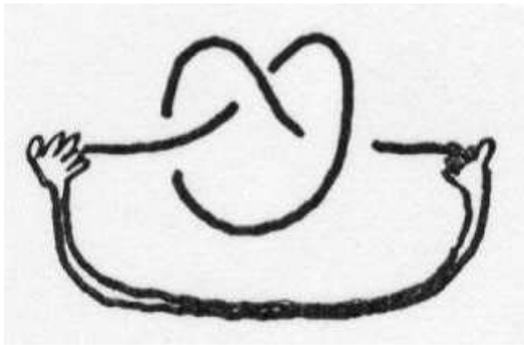
結んでいない

# 数学で扱う結び目

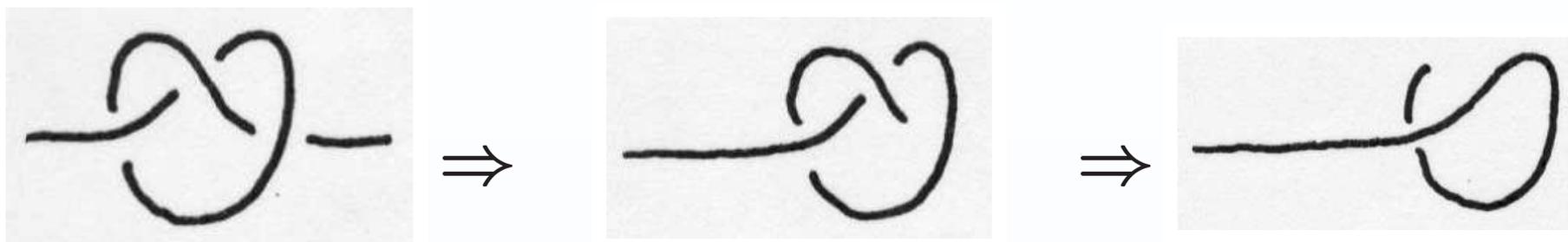


結んでいる      右端を短くしていく      結んでいない

● 端点を手に持って離さなければほどけない。

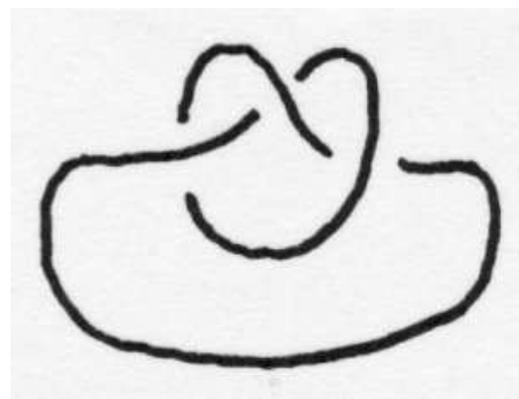
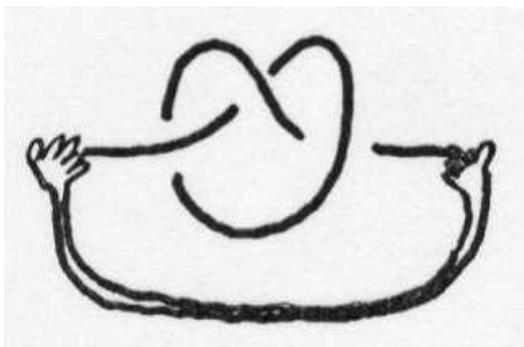


# 数学で扱う結び目



結んでいる      右端を短くしていく      結んでいない

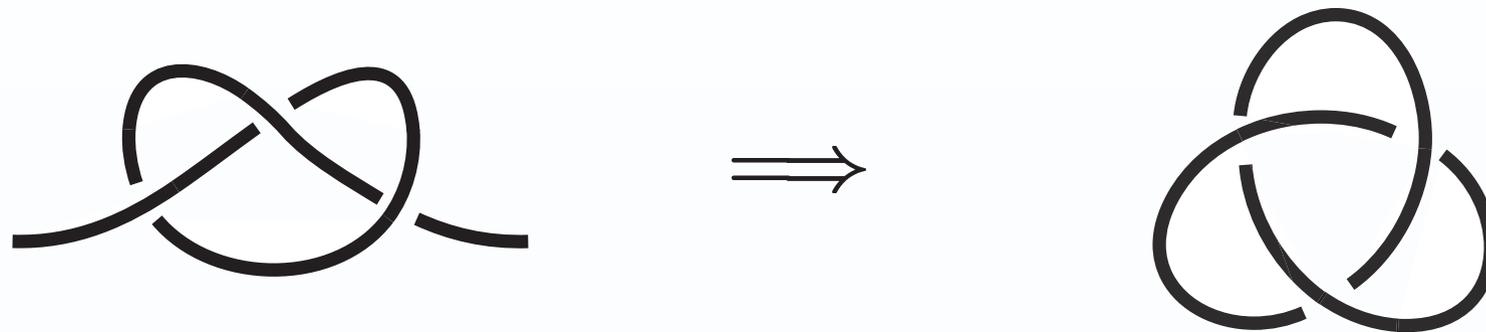
● 端点を手に持って離さなければほどけない。



● **定義** 数学で扱う結び目 = 3次元空間に、自分自身と交わらないように埋め込まれた円周

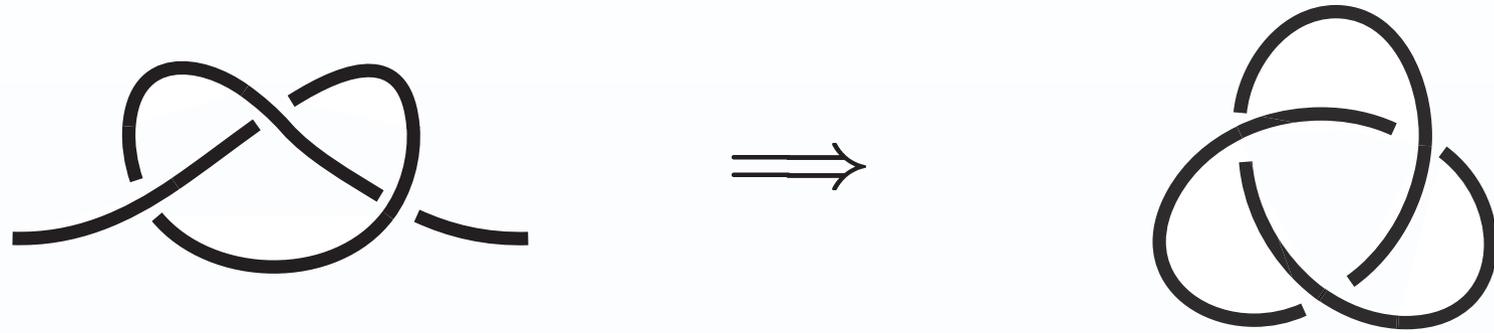
# 簡単な結び目の例

- Trefoil (三葉結び目)

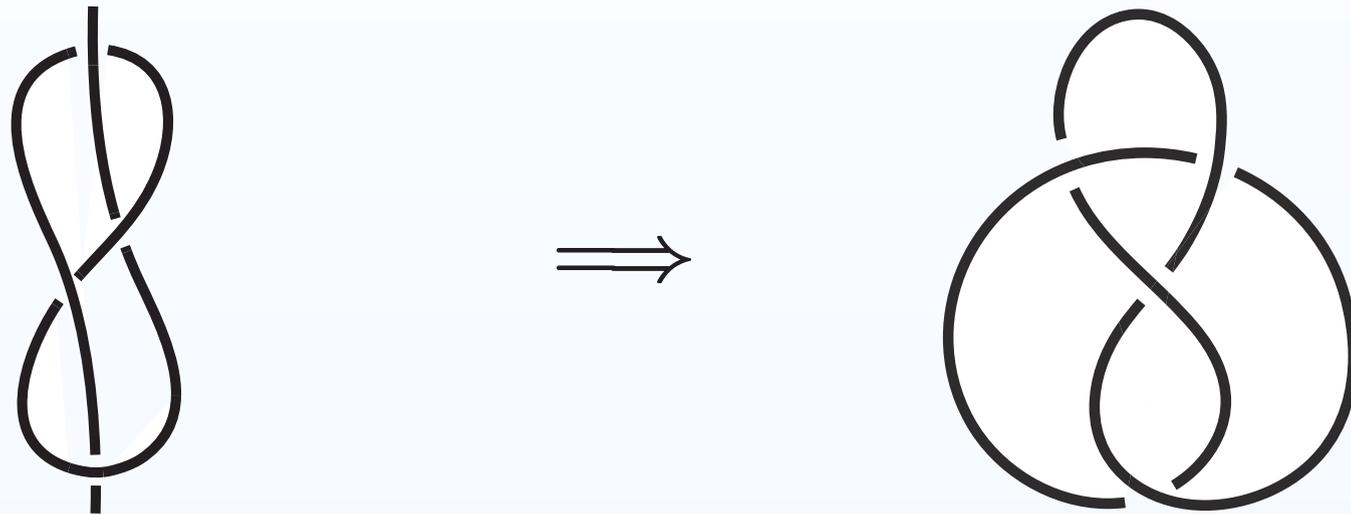


# 簡単な結び目の例

- Trefoil (三葉結び目)



- Figure eight (8の字結び目)



# 二つの結び目が同じ、とは？

## 定義

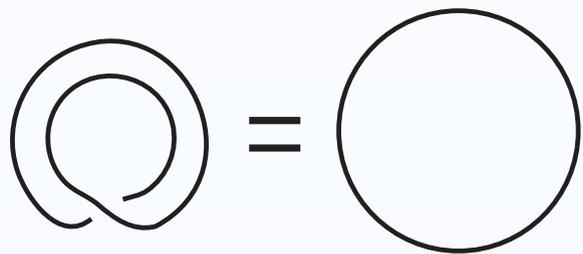
二つの結び目が「同じ」（同型、イソトピック）であるとは、二つがゴム紐でできているとして、ゴム紐を切らずに連続的に変形して、一方を他方に重ね合わせられるようにできること。

# 二つの結び目が同じ、とは？

## 定義

二つの結び目が「同じ」（同型、イソトピック）であるとは、二つがゴム紐でできているとして、ゴム紐を切らずに連続的に変形して、一方を他方に重ね合わせられるようにできること。

簡単な例（「自明な結び目」という）

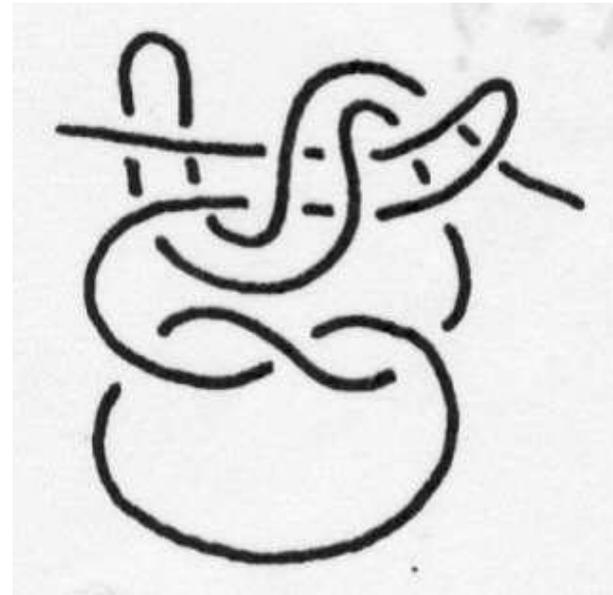
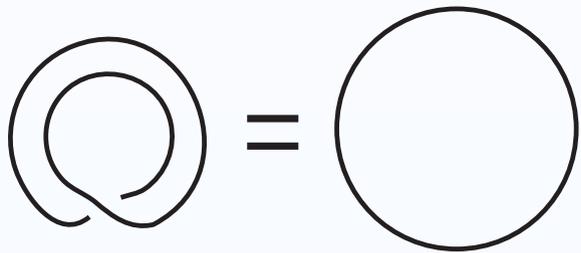


# 二つの結び目が同じ、とは？

## 定義

二つの結び目が「同じ」（同型、イソトピック）であるとは、二つがゴム紐でできているとして、ゴム紐を切らずに連続的に変形して、一方を他方に重ね合わせられるようにできること。

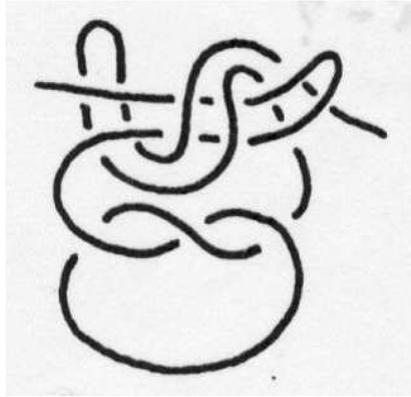
簡単な例（「自明な結び目」という）



蝶結び目は何と同じ？

# 蝶結びはなにか？

## 蝶結びの変形



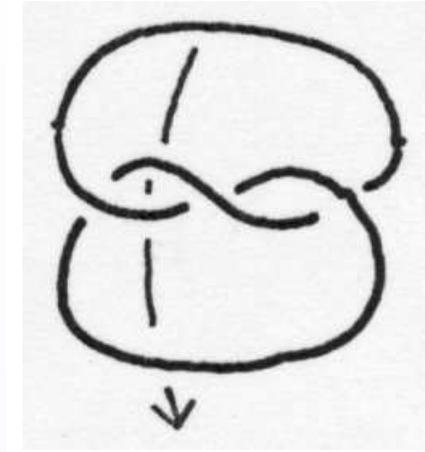
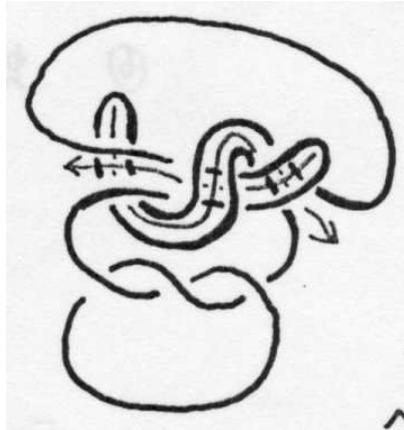
# 蝶結びはなにか？

## 蝶結びの変形



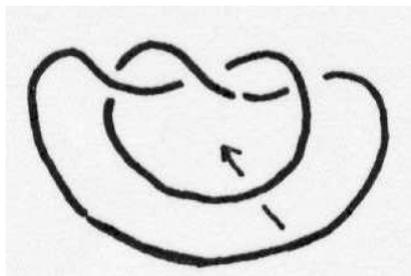
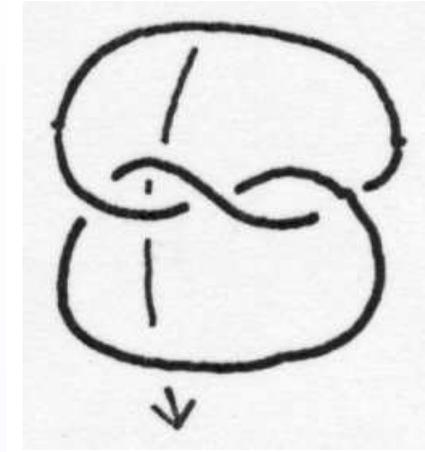
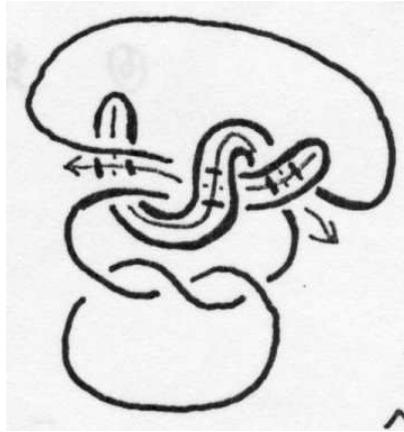
# 蝶結びはなにか？

## 蝶結びの変形



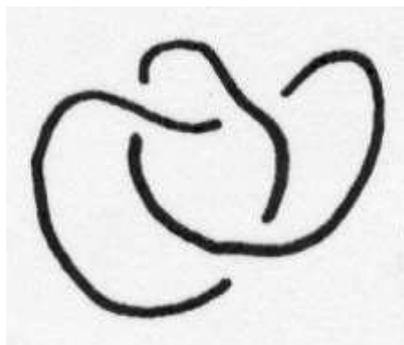
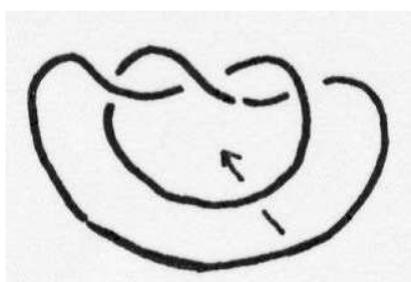
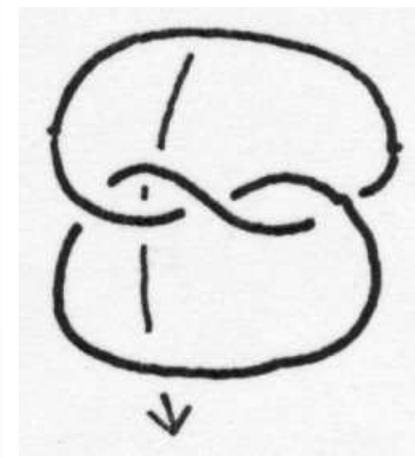
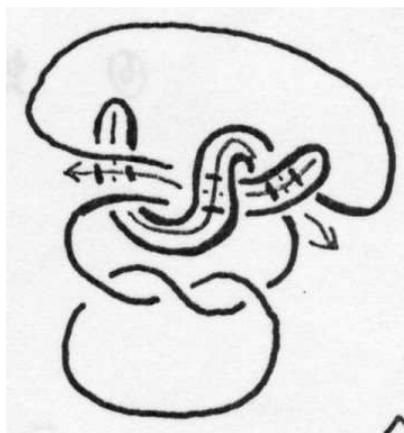
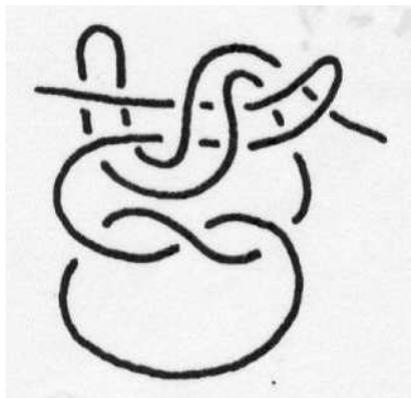
# 蝶結びはなにか？

## 蝶結びの変形



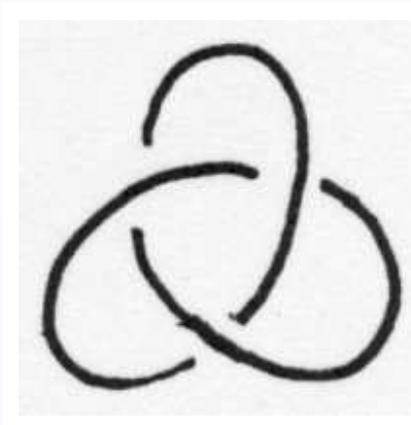
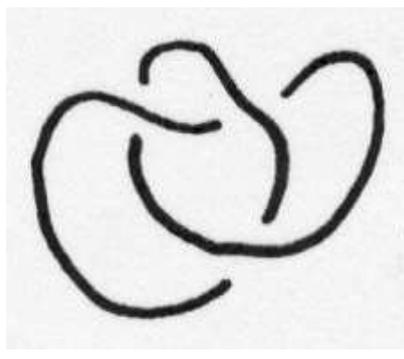
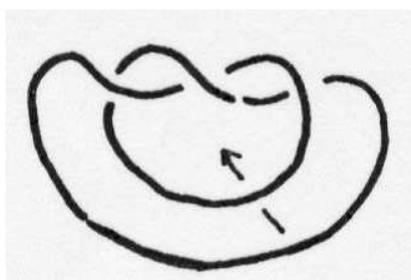
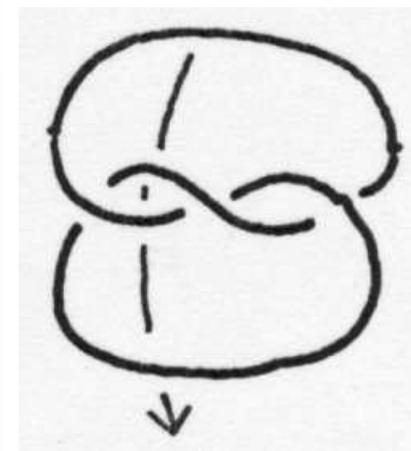
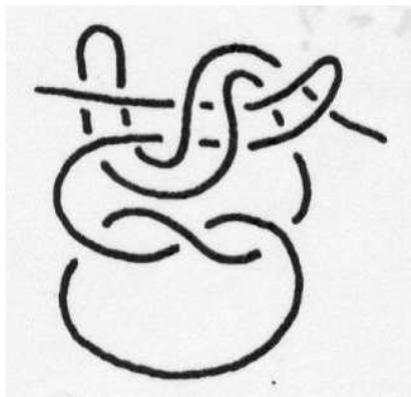
# 蝶結びはなにか？

## 蝶結びの変形



# 蝶結びはなにか？

## 蝶結びの変形



## 蝶結び = ひとえ結び

Figures by Kusner and Sullivan. Taken from [http://www.gang.umass.edu/~kusner/knot\\_\\_pix/](http://www.gang.umass.edu/~kusner/knot__pix/)

# 結び目の研究超略歴～物理から

● ガウス (1777 – 1855)



10 マルク札

# 結び目の研究超略歴～物理から

● ガウス (1777 – 1855)



10 ユロ札



100 マルク札のクララ・  
シューマン

# 結び目の研究超略歴～物理から

## ● ガウス (1777 – 1855)

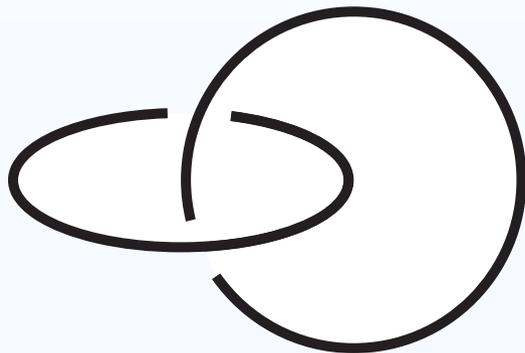


10 ユロ札



100 マルク札のクララ・  
シューマン

## ● 絡み目の絡み数の積分表示を与えた。(電磁気学)



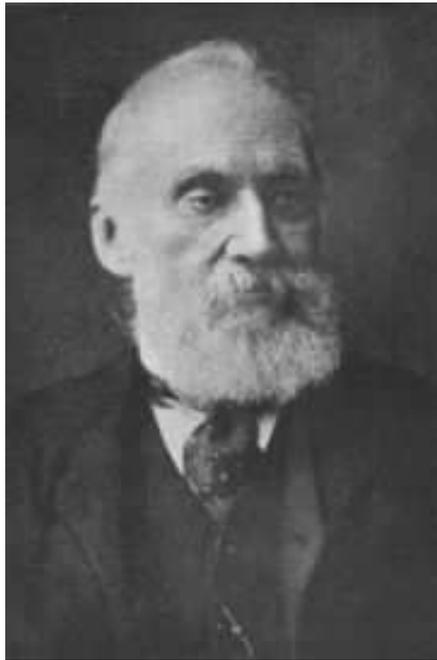
ビオ・サバールの法則  
Hopf リンクで  $(\pm)1$

# 結び目の研究超略歴～物理から

## ● ガウスの弟子のリスティング

# 結び目の研究超略歴～物理から

- ガウスの弟子のリスティング
- ケルヴィン卿 (ウィリアム・トムソン) (1824 – 1907)  
渦原子論 (1867) : 原子 = エーテルの渦輪



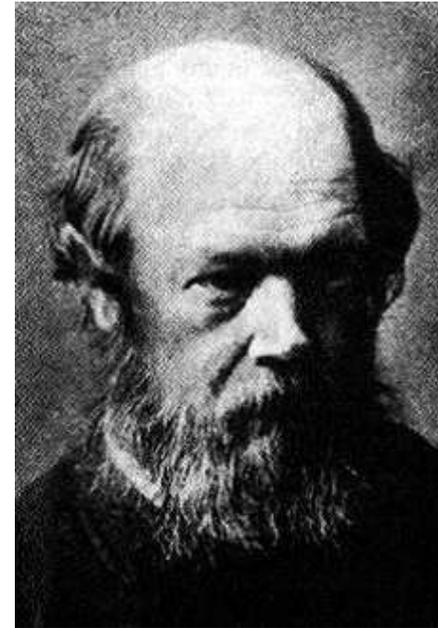
ケルヴィン卿

# 結び目の研究超略歴～物理から

- ガウスの弟子のリスティング
- ケルヴィン卿 (ウィリアム・トムソン) (1824 – 1907)  
渦原子論 (1867) : 原子 = エーテルの渦輪



ケルヴィン卿

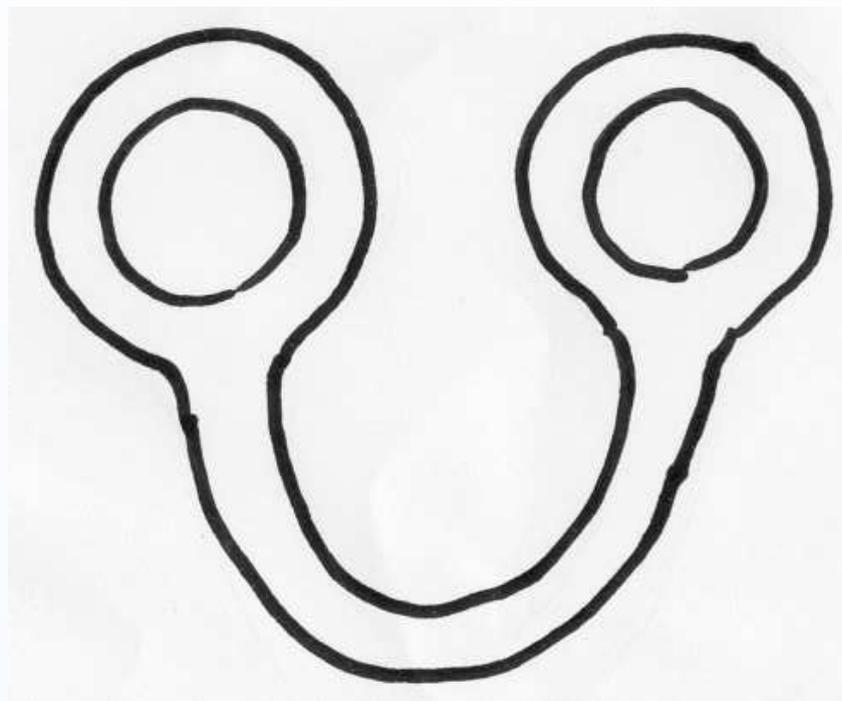


P. G. テイト

- P. G. テイト (1831 – 1901) 結び目の一覧表

# Intermezzo～ルパン III 世

- 粘土で絡み合ったハンドカフ（手錠）を作りました（左図）。粘土を切ったりしないので、連続的に変形しただけで、右図のように二つの輪っかを外せるのでしょうか。



# 結び目の研究超略歴～コテコテ編

● アレクサンダー (1888 – 1971) :

アレクサンダー多項式 (結び目不変量) (1920's)

# 結び目の研究超略歴～コテコテ編

- アレクサンダー (1888 – 1971) :  
アレクサンダー多項式 (結び目不変量) (1920's)
- ライデマイスター (1893 – 1971) :  
2つの結び目関式が同じ結び目を表わす

# 結び目の研究超略歴～コテコテ編

● アレクサンダー (1888 – 1971) :

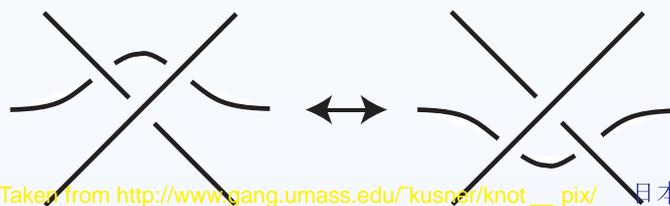
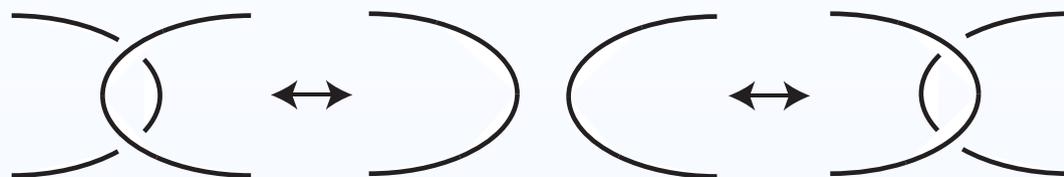
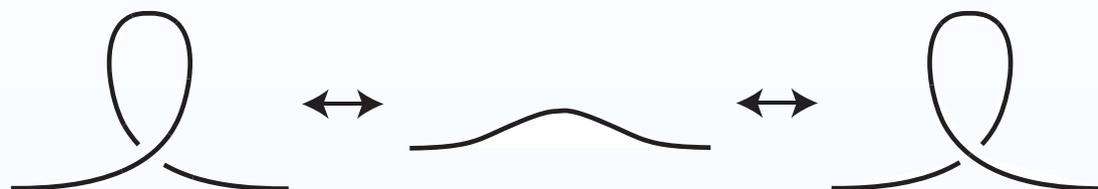
アレクサンダー多項式 (結び目不変量) (1920's)

● ライデマイスター (1893 – 1971) :

2つの結び目図式が同じ結び目を表わす

⇔ 本質的に次の局所変形を有限回施すと移りあう

(Reidemeister moves (1932))



# 結び目の研究超略歴～ブレイクスルー

● ヴォーン・ジョーンズ (1952 -) 作用素環論



# 結び目の研究超略歴～ブレイクスルー

ヴォーン・ジョーンズ (1952 -) 作用素環論



ジョーンズ多項式 (結び目不変量)

# 結び目の研究超略歴～ブレイクスルー

ヴォーン・ジョーンズ (1952 -) 作用素環論



～ 組み紐群 ～ ジョーンズ多項式 (結び目不変量)

# 結び目の研究超略歴～ブレイクスルー

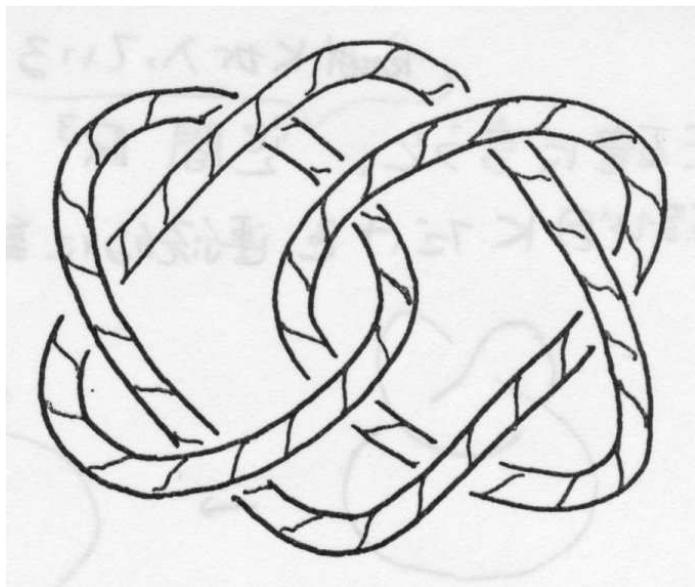
- ヴォーン・ジョーンズ (1952 -) 作用素環論



- ～ 組み紐群 ～→ ジョーンズ多項式 (結び目不変量)
- **フィールズ賞受賞!** (1990)

# 結び目不変量～その愛は本物か？

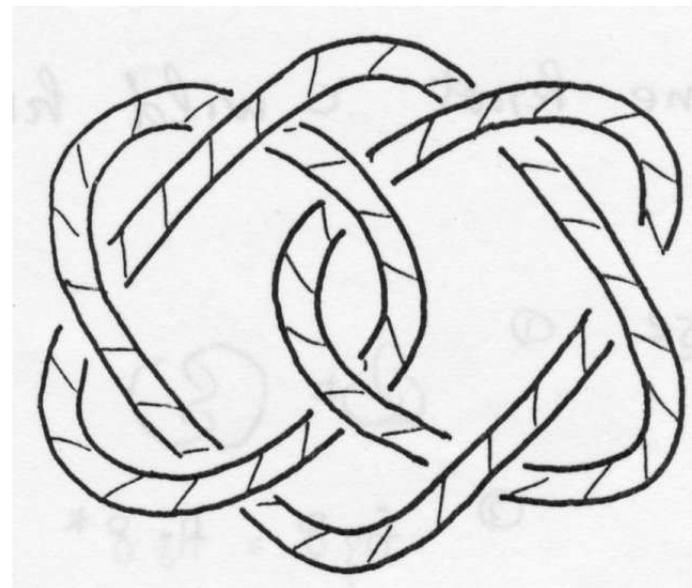
**問題** 真実の愛の結び目と偽りの愛の結び目は違うのか？



真実の愛の結び目

# 結び目不変量～その愛は本物か？

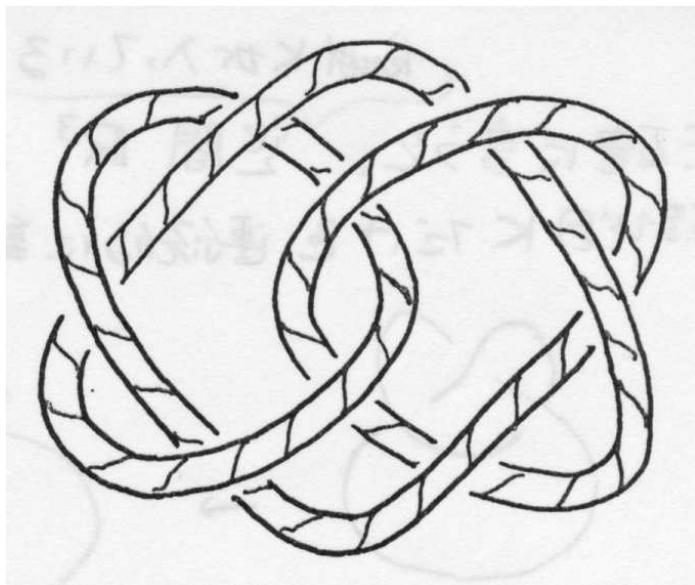
**問題** 真実の愛の結び目と偽りの愛の結び目は違うのか？



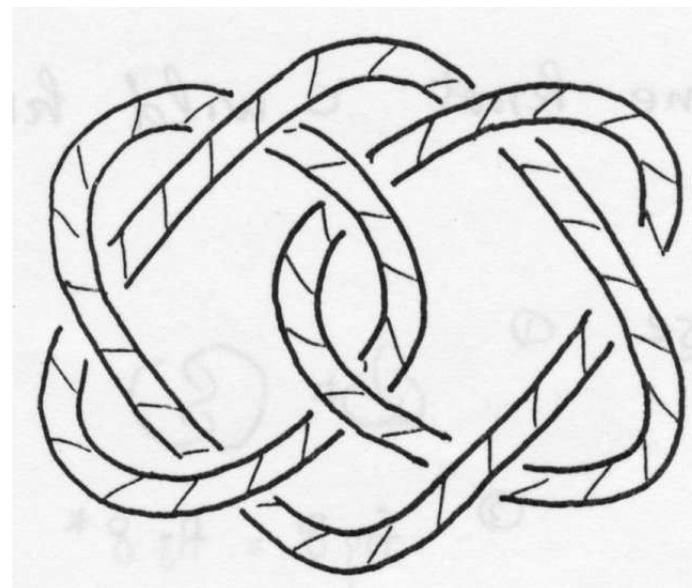
偽りの愛の結び目

# 結び目不変量～その愛は本物か？

**問題** 真実の愛の結び目と偽りの愛の結び目は違うのか？



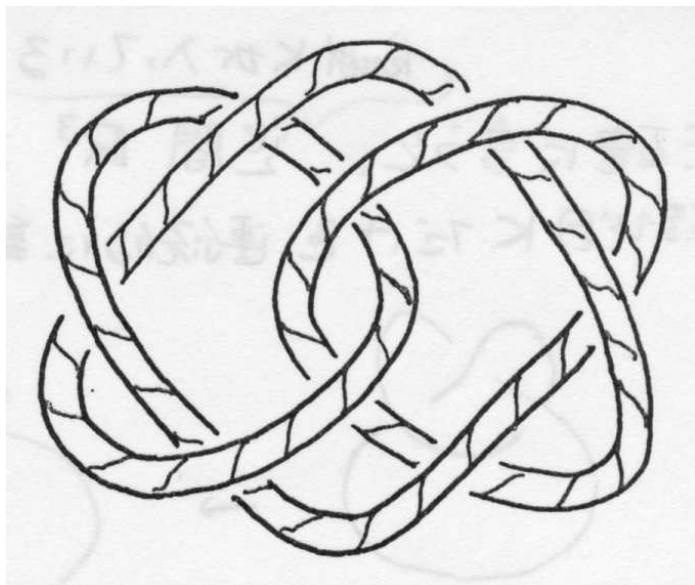
真実の愛の結び目



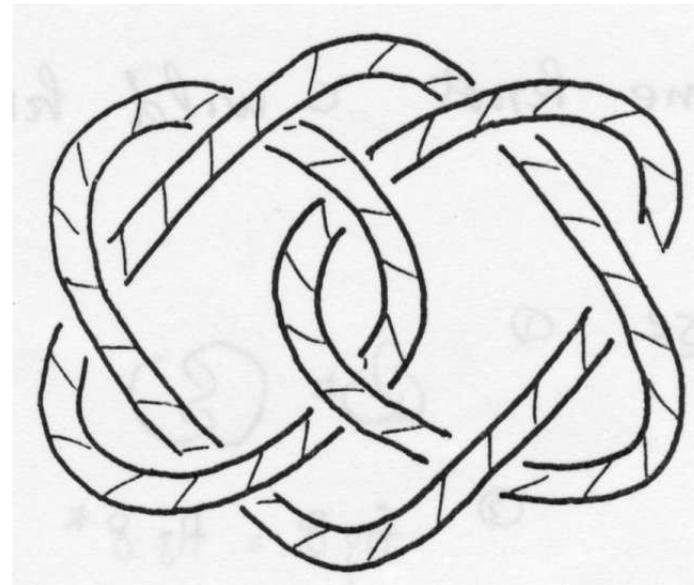
偽りの愛の結び目

# 結び目不変量～その愛は本物か？

**問題** 真実の愛の結び目と偽りの愛の結び目は違うのか？



真実の愛の結び目



偽りの愛の結び目

**問題** この二つは果たして本当に違うのか？

# 結び目が同じかどうかの判定

- 復習：2つの結び目図式の表わす結び目が同じ  
⇔ ライデマイスター・ムーブを何回かすれば移りあう

# 結び目が同じかどうかの判定

- 復習：2つの結び目図式の表わす結び目が同じ  
⇔ ライデマイスター・ムーブを何回かすれば移りあう
- このアルゴリズムはない

# 結び目が同じかどうかの判定

- 復習：2つの結び目図式の表わす結び目が同じ  
⇔ ライデマイスター・ムーブを何回かすれば移りあう
- このアルゴリズムはない
- 同じことを証明するには、実際に変形して見せればよい。

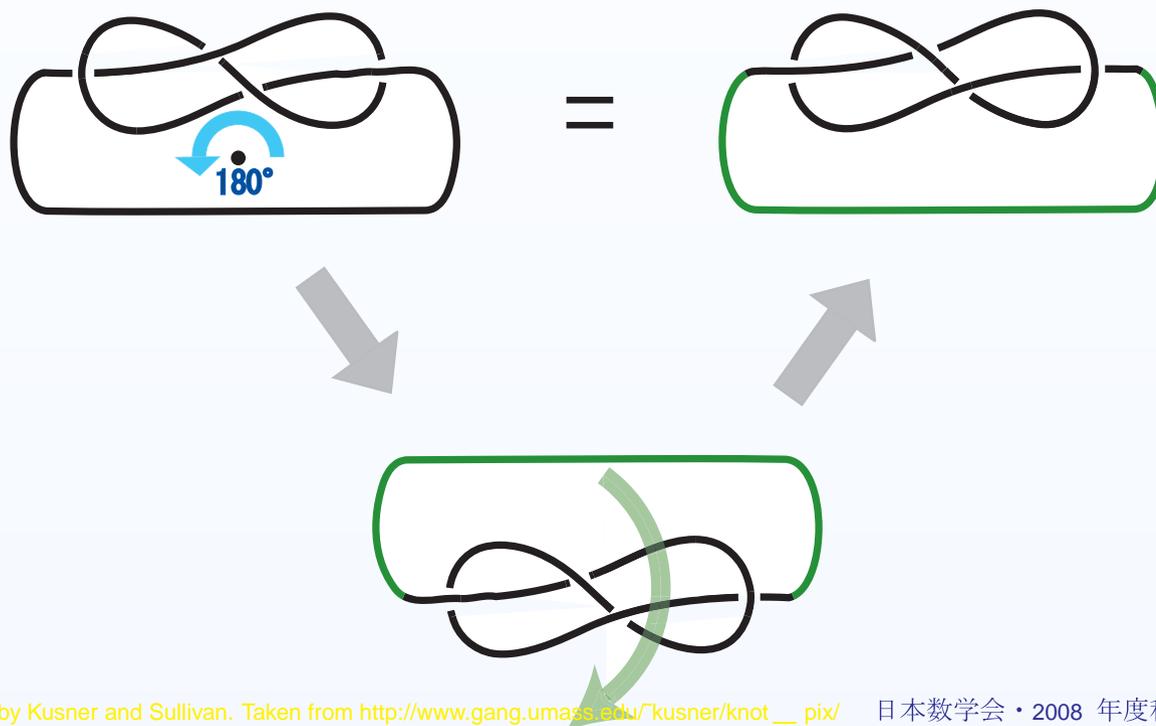
# 結び目が同じかどうかの判定

- 復習：2つの結び目図式の表わす結び目が同じ  
⇔ ライデマイスター・ムーブを何回かすれば移りあう
- このアルゴリズムはない
- 同じことを証明するには、実際に変形して見せればよい。(簡単とは限らない)
- 8の字結び目 = その鏡像 ?



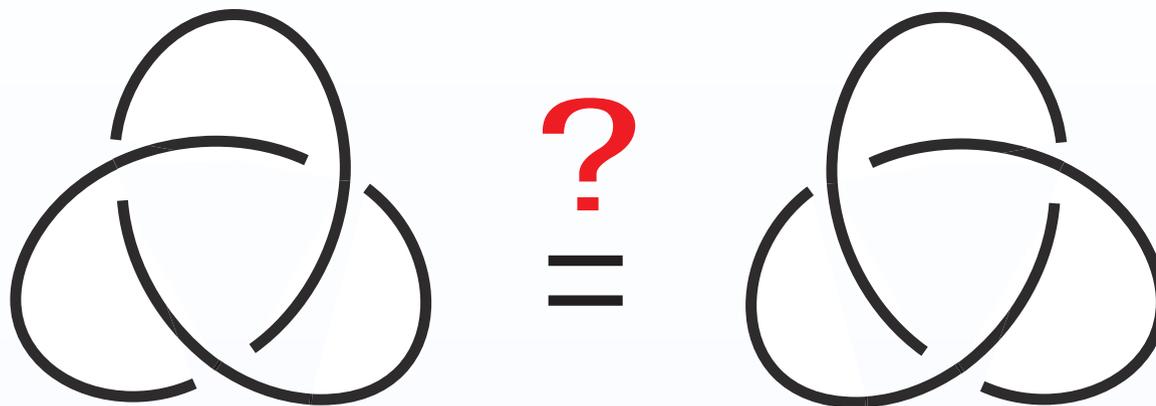
# 結び目が同じかどうかの判定

- 復習：2つの結び目図式の表わす結び目が同じ  
⇔ ライデマイスター・ムーブを何回かすれば移りあう
- このアルゴリズムはない
- 同じことを証明するには、実際に変形して見せればよい。(簡単とは限らない)
- 8の字結び目 = その鏡像！



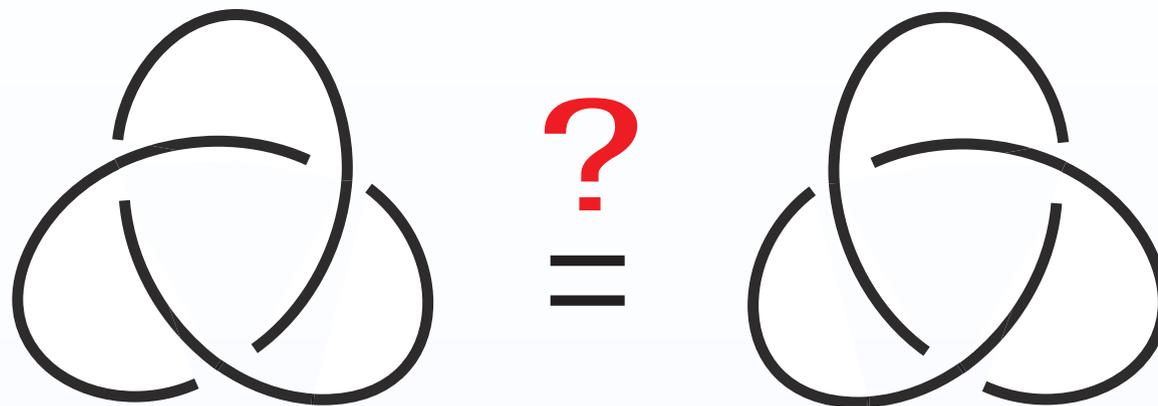
# 結び目が同じかどうかの判定

- ひとえ結び目 = その鏡像？



# 結び目が同じかどうかの判定

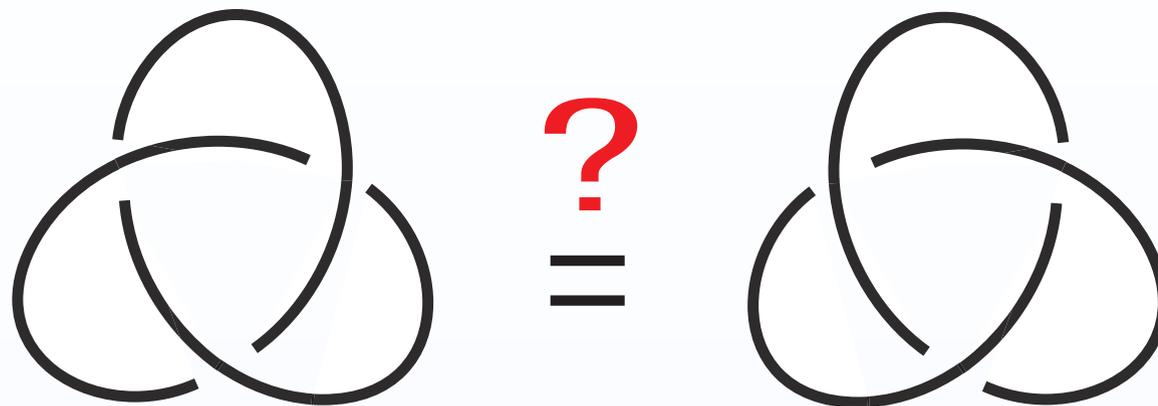
- ひとえ結び目 = その鏡像？



- いくらやってもできないからといって、2つが異なる、とは言えない。

# 結び目が同じかどうかの判定

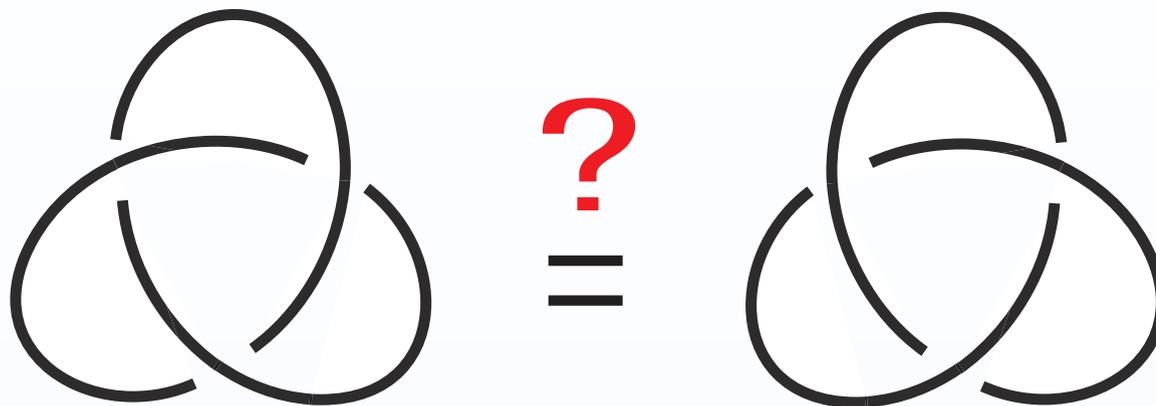
- ひとえ結び目 = その鏡像？



- いくらやってもできないからといって、2つが異なる、とは言えない。
- 異なるものが異なることを示す道具： **(結び目) 不変量**

# 結び目が同じかどうかの判定

- ひとえ結び目 = その鏡像？



- いくらやってもできないからといって、2つが異なる、とは言えない。
- 異なるものが異なることを示す道具：**（結び目）不変量**
- 不変量とは、  
{結び目} → ある集合（例：{数}、{多項式}、群）  
なる写像で、同じ結び目には同じ値を対応させるもの。

# 不変量とは

対象となる集合  $T$ 、「同じ」であるという関係  $\sim$ 、  
ある集合  $S$ 、 $T$  から  $S$  への写像  $f$  で、「同じ」ものの行く先が等しいもの： $a \sim b \Rightarrow f(a) = f(b)$ 。

# 不変量とは

- 対象となる集合  $T$ 、「同じ」であるという関係  $\sim$ 、ある集合  $S$ 、 $T$  から  $S$  への写像  $f$  で、「同じ」ものの行く先が等しいもの： $a \sim b \Rightarrow f(a) = f(b)$ 。
- 対偶をとると  $f(a) \neq f(b) \Rightarrow a \not\sim b$

# 不変量とは

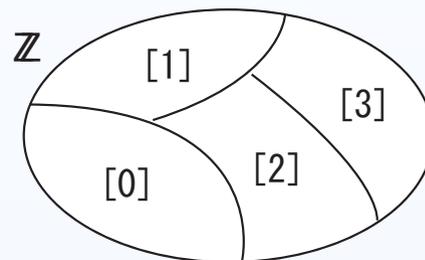
- 対象となる集合  $T$ 、「同じ」であるという関係  $\sim$ 、ある集合  $S$ 、 $T$  から  $S$  への写像  $f$  で、「同じ」ものの行く先が等しいもの： $a \sim b \Rightarrow f(a) = f(b)$ 。
- 対偶をとると  $f(a) \neq f(b) \Rightarrow a \not\sim b$
- 例： $T = \mathbb{Z} = \{\text{整数}\}$ 、 $\sim$ ：4 で割った余りが同じ、 $S = \{0, 1\}$ 、 $f$ ：2 で割った余りを対応させる。

# 不変量とは

- 対象となる集合  $T$ 、「同じ」であるという関係  $\sim$ 、ある集合  $S$ 、 $T$  から  $S$  への写像  $f$  で、「同じ」ものの行く先が等しいもの :  $a \sim b \Rightarrow f(a) = f(b)$ 。
- 対偶をとると  $f(a) \neq f(b) \Rightarrow a \not\sim b$
- 例 :  $T = \mathbb{Z} = \{\text{整数}\}$ 、 $\sim : 4$  で割った余りが同じ、 $S = \{0, 1\}$ 、 $f : 2$  で割った余りを対応させる。
- $T$  に同値関係  $\sim$  を入れる  $\iff T$  の分割を与える

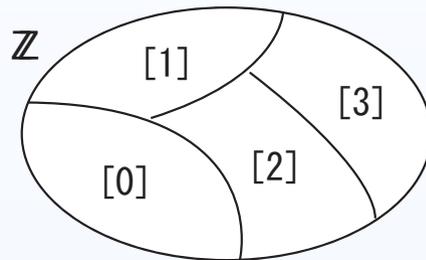
# 不変量とは

- 対象となる集合  $T$ 、「同じ」であるという関係  $\sim$ 、ある集合  $S$ 、 $T$  から  $S$  への写像  $f$  で、「同じ」ものの行く先が等しいもの： $a \sim b \Rightarrow f(a) = f(b)$ 。
- 対偶をとると  $f(a) \neq f(b) \Rightarrow a \not\sim b$
- 例： $T = \mathbb{Z} = \{\text{整数}\}$ 、 $\sim$ ：4 で割った余りが同じ、 $S = \{0, 1\}$ 、 $f$ ：2 で割った余りを対応させる。
- $T$  に同値関係  $\sim$  を入れる  $\iff T$  の分割を与える
- 上の例だと、 $\mathbb{Z} = [0] \cup [1] \cup [2] \cup [3]$ （非交和），ただし  $[i] = \{4n + i \mid n \in \mathbb{Z}\}$



# 不変量とは

- 対象となる集合  $T$ 、「同じ」であるという関係  $\sim$ 、ある集合  $S$ 、 $T$  から  $S$  への写像  $f$  で、「同じ」ものの行く先が等しいもの： $a \sim b \Rightarrow f(a) = f(b)$ 。
- 対偶をとると  $f(a) \neq f(b) \Rightarrow a \not\sim b$
- 例： $T = \mathbb{Z} = \{\text{整数}\}$ 、 $\sim$ ：4 で割った余りが同じ、 $S = \{0, 1\}$ 、 $f$ ：2 で割った余りを対応させる。
- $T$  に同値関係  $\sim$  を入れる  $\iff T$  の分割を与える
- 上の例だと、 $\mathbb{Z} = [0] \cup [1] \cup [2] \cup [3]$  (非交和)，ただし  $[i] = \{4n + i \mid n \in \mathbb{Z}\}$



- $f$  が不変量  $\iff f$  は  $[i]$  上同じ値をとる

# 15パズルの不変量

●  $T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	

# 15パズルの不変量

$T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	
13	14	15	12

# 15パズルの不変量

$T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10		11
13	14	15	12

# 15パズルの不変量

$T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ

1	2	3	4
5	6	7	8
9		10	11
13	14	15	12

# 15パズルの不変量

- $T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ
- 同値関係 ~ は、  
「1つのピースを横に動かす」  
と  
「1つのピースを縦に動かす」  
の2つの操作を有限回繰り返せば得られる。

# 15パズルの不変量

$T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
 $\sim$  : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ

同値関係  $\sim$  は、  
「1つのピースを横に動かす」  
と  
「1つのピースを縦に動かす」  
の2つの操作を有限回繰り返せば得られる。

$f$  が不変量  $\iff f$  の値が上の2つの操作で変わらない

# 15パズルの不変量

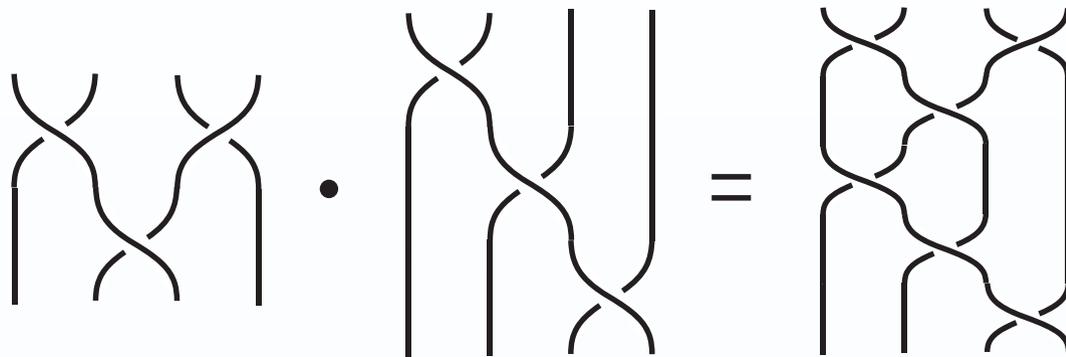
- $T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ
- 同値関係  $\sim$  は、  
「1つのピースを横に動かす」  
と  
「1つのピースを縦に動かす」  
の2つの操作を有限回繰り返せば得られる。
- **$f$  が不変量  $\iff f$  の値が上の2つの操作で変わらない**
- 不変量を用いると、  
「14と15のピースだけ入れ替えることはできない」  
ことが分かる

# 15パズルの不変量

- $T$  : 15パズルの状態全て (16!個の元よりなる)、  
~ : ピースをスライドさせて移りあう、  
 $S = \{+1, -1\}$ 、 $f$  : 置換の符号  $\times$  アルファ
- 同値関係 ~ は、  
「1つのピースを横に動かす」  
と  
「1つのピースを縦に動かす」  
の2つの操作を有限回繰り返せば得られる。
- **$f$  が不変量  $\iff f$  の値が上の2つの操作で変わらない**
- 不変量を用いると、  
「14と15のピースだけ入れ替えることはできない」  
ことが分かる
- 結び目不変量 (ジョーンズ多項式) に戻りましょう。

# 組み紐群～Jones 多項式への架け橋

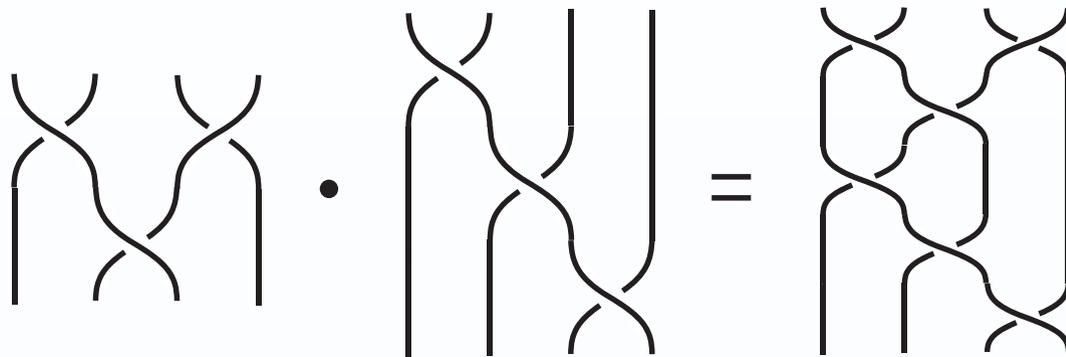
●  $n$  本の紐からなる組み紐全体  $B_n$  は



で積（演算）を定めることにより、「群」になる。

# 組み紐群～Jones 多項式への架け橋

- $n$  本の紐からなる組み紐全体  $B_n$  は

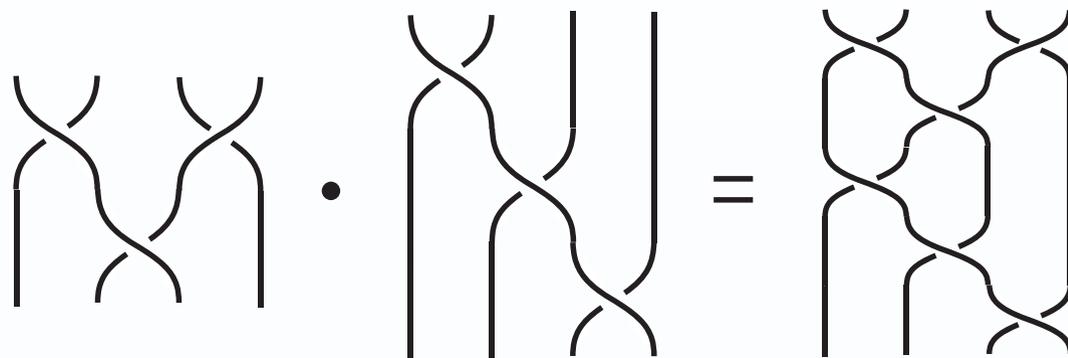


で積（演算）を定めることにより、「群」になる。

- 代数的なとり扱いができる！

# 組み紐群～Jones 多項式への架け橋

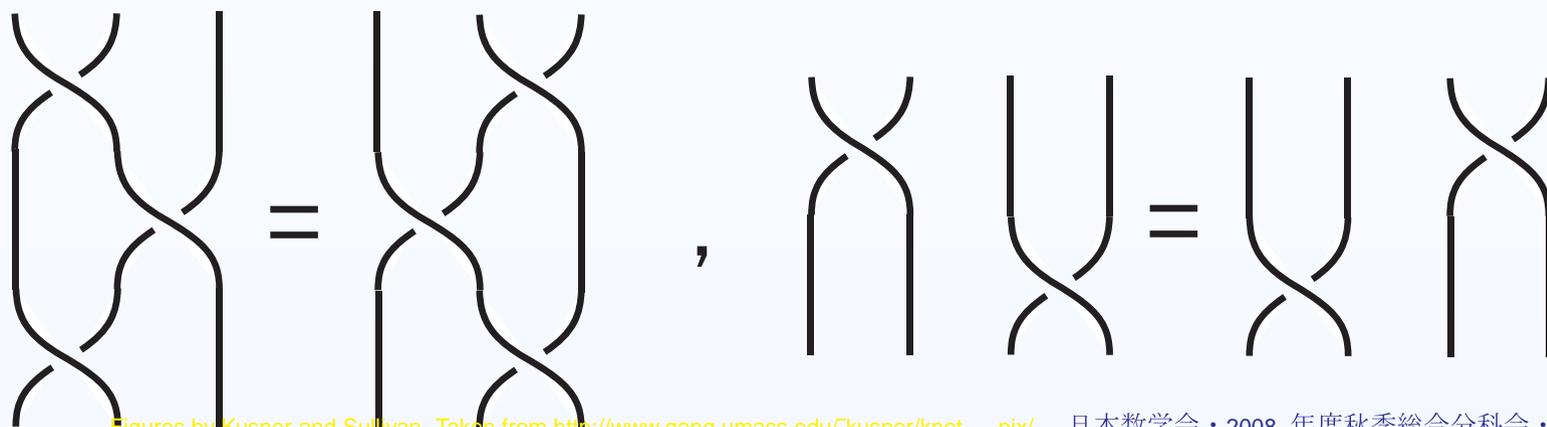
- $n$  本の紐からなる組み紐全体  $B_n$  は



で積（演算）を定めることにより、「群」になる。

- 代数的なとり扱いができる！

- この組み紐群は  $\begin{array}{c} \vdots \\ \diagdown \quad \diagup \\ \vdots \end{array}$  の形のものとその逆元で生成され、次の関係式（**組み紐関係式**）を満たす。

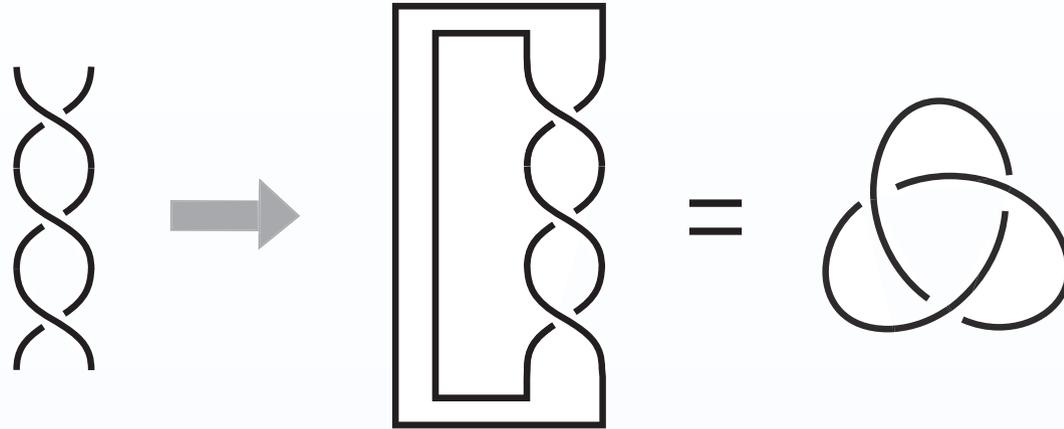


# 組み紐から結び目、絡み目へ

- 組み紐を閉じると、結び目、絡み目になる

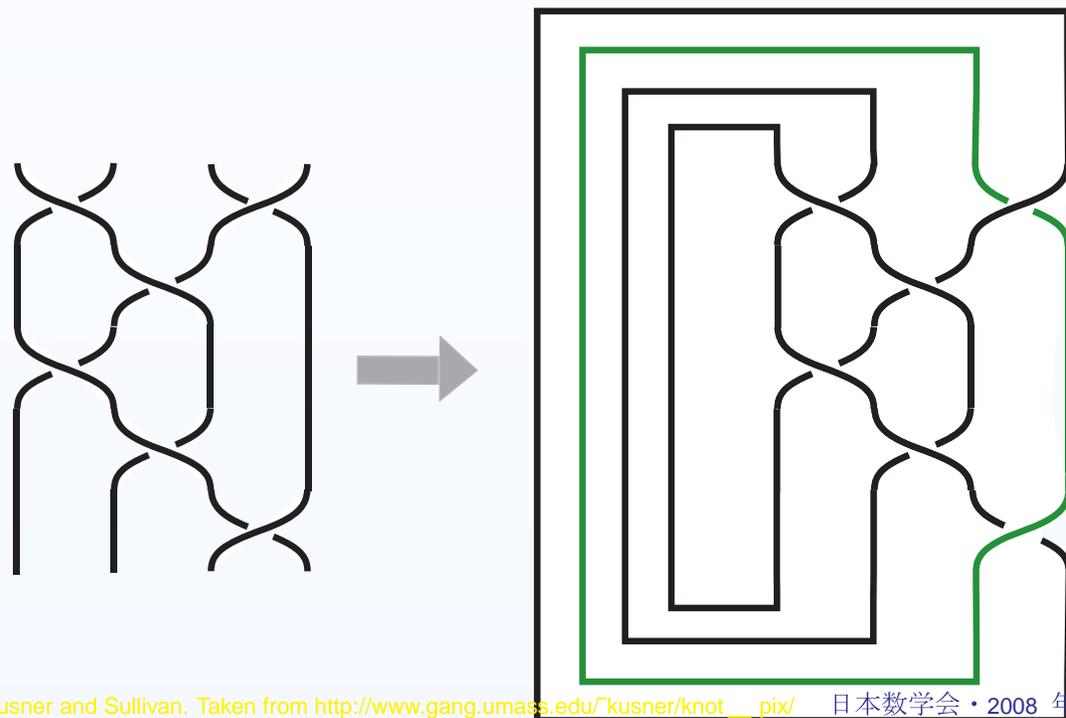
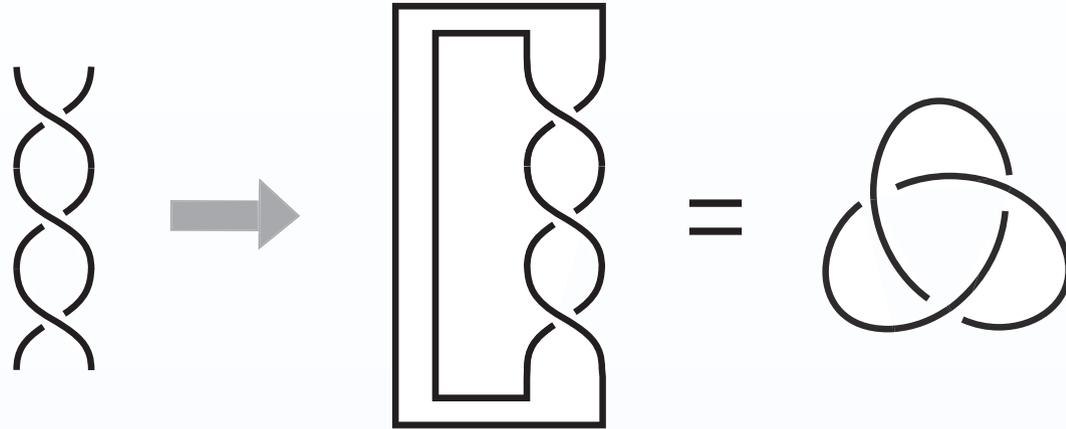
# 組み紐から結び目、絡み目へ

- 組み紐を閉じると、結び目、絡み目になる



# 組み紐から結び目、絡み目へ

- 組み紐を閉じると、結び目、絡み目になる



# ジョーンズ多項式の特徴づけ

- $T = \{ \text{結び目 (と絡み目)} \}$ 、 $\sim$  : 「同じ」、  
 $S = \{ t, (t^{\frac{1}{2}}) \}$  の (負の冪も許した) 整数係数多項式 }

# ジョーンズ多項式の特徴づけ

- $T = \{ \text{結び目 (と絡み目)} \}$ 、 $\sim$  : 「同じ」、  
 $S = \{ t, (t^{\frac{1}{2}}) \}$  の (負の冪も許した) 整数係数多項式 }
- 結び目または絡み目  $L$  のジョーンズ多項式  $V_L(t)$  は、次の2つの性質で特徴付けられる。

# ジョーンズ多項式の特徴づけ

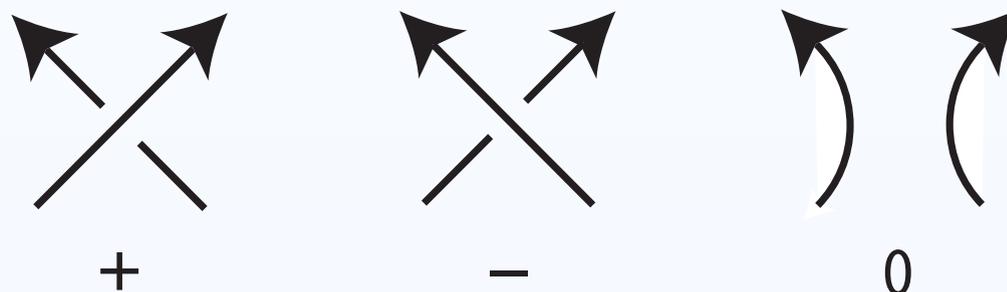
- $T = \{ \text{結び目 (と絡み目)} \}$ 、 $\sim$  : 「同じ」、  
 $S = \{ t, (t^{\frac{1}{2}}) \}$  の (負の冪も許した) 整数係数多項式 }
- 結び目または絡み目  $L$  のジョーンズ多項式  $V_L(t)$  は、次の2つの性質で特徴付けられる。
  - 自明な結び目を  $\bigcirc$  で表すと  $V_{\bigcirc}(t) = 1$

# ジョーンズ多項式の特徴づけ

- $T = \{ \text{結び目 (と絡み目)} \}$ 、 $\sim$  : 「同じ」、  
 $S = \{ t, t^{\frac{1}{2}} \}$  の (負の冪も許した) 整数係数多項式 }
- 結び目または絡み目  $L$  のジョーンズ多項式  $V_L(t)$  は、次の2つの性質で特徴付けられる。
  - 自明な結び目を  $\bigcirc$  で表すと  $V_{\bigcirc}(t) = 1$
  - スケイン関係式

$$t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$$

ただし、 $L_+$ ,  $L_-$ ,  $L_0$  はある図式の1つの“交点”の部分だけを次で置き換えてできるもの：

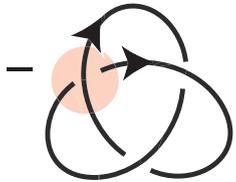


# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

- $V_{\circ}(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$

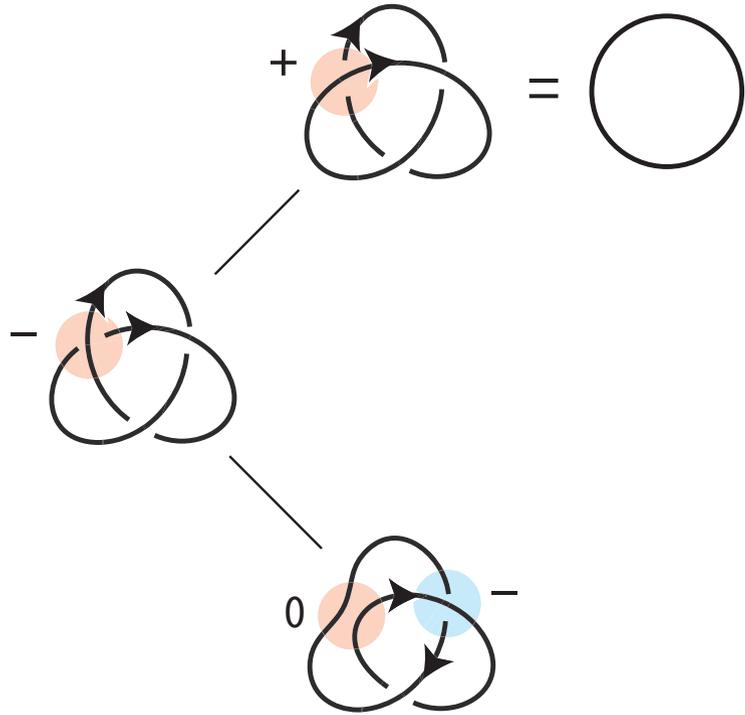
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



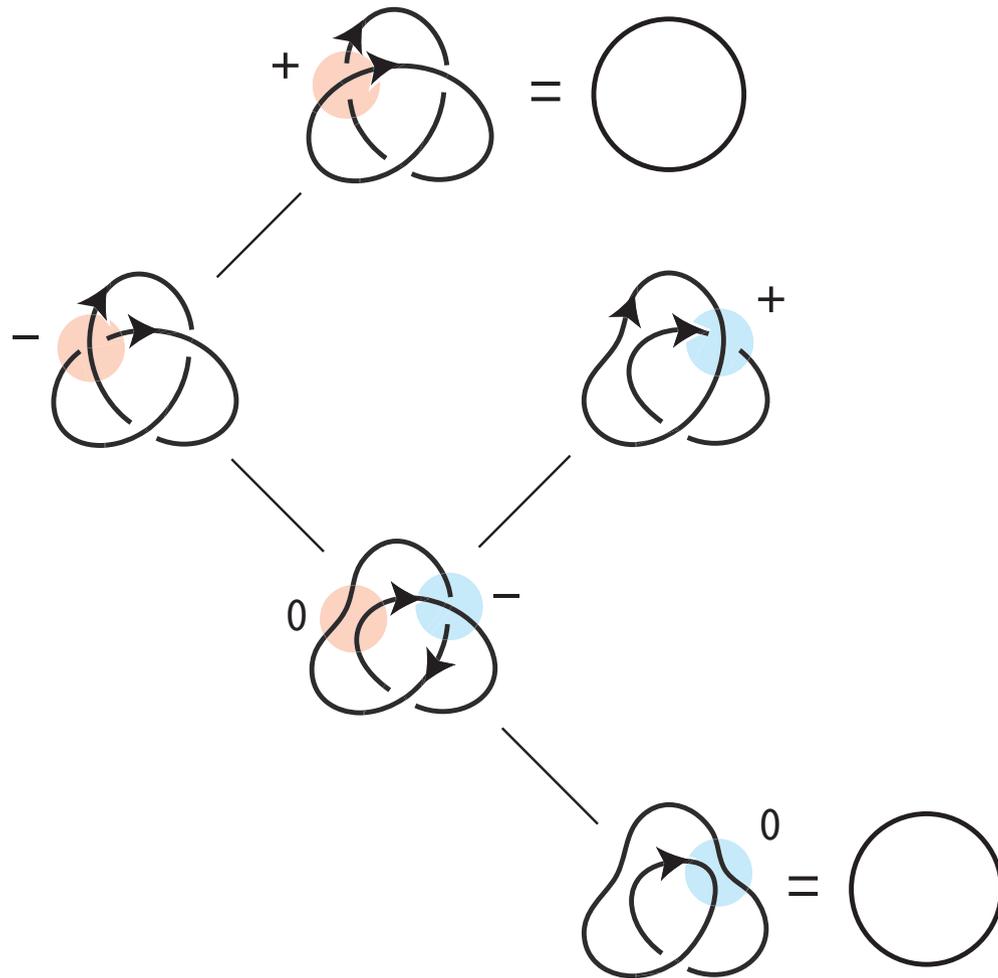
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



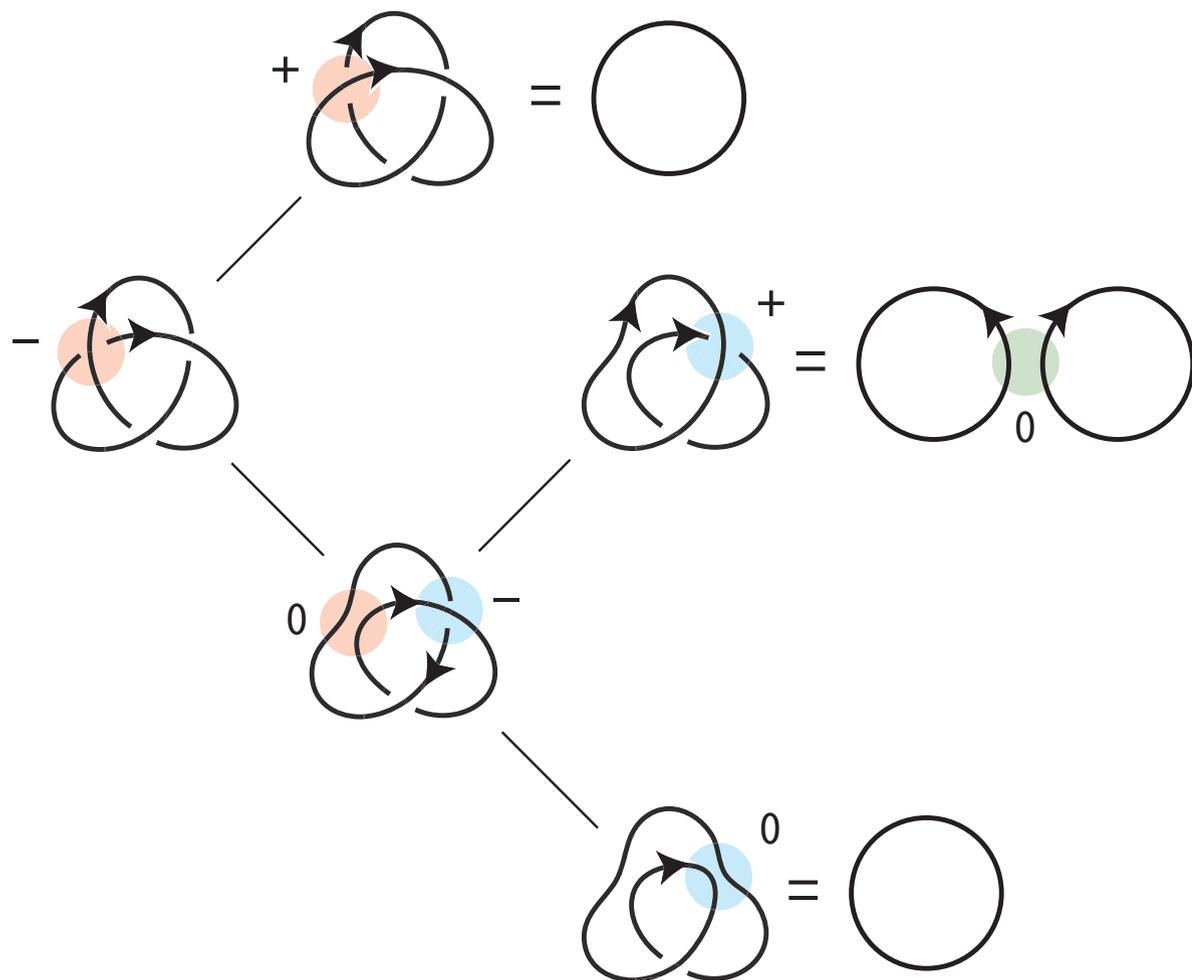
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



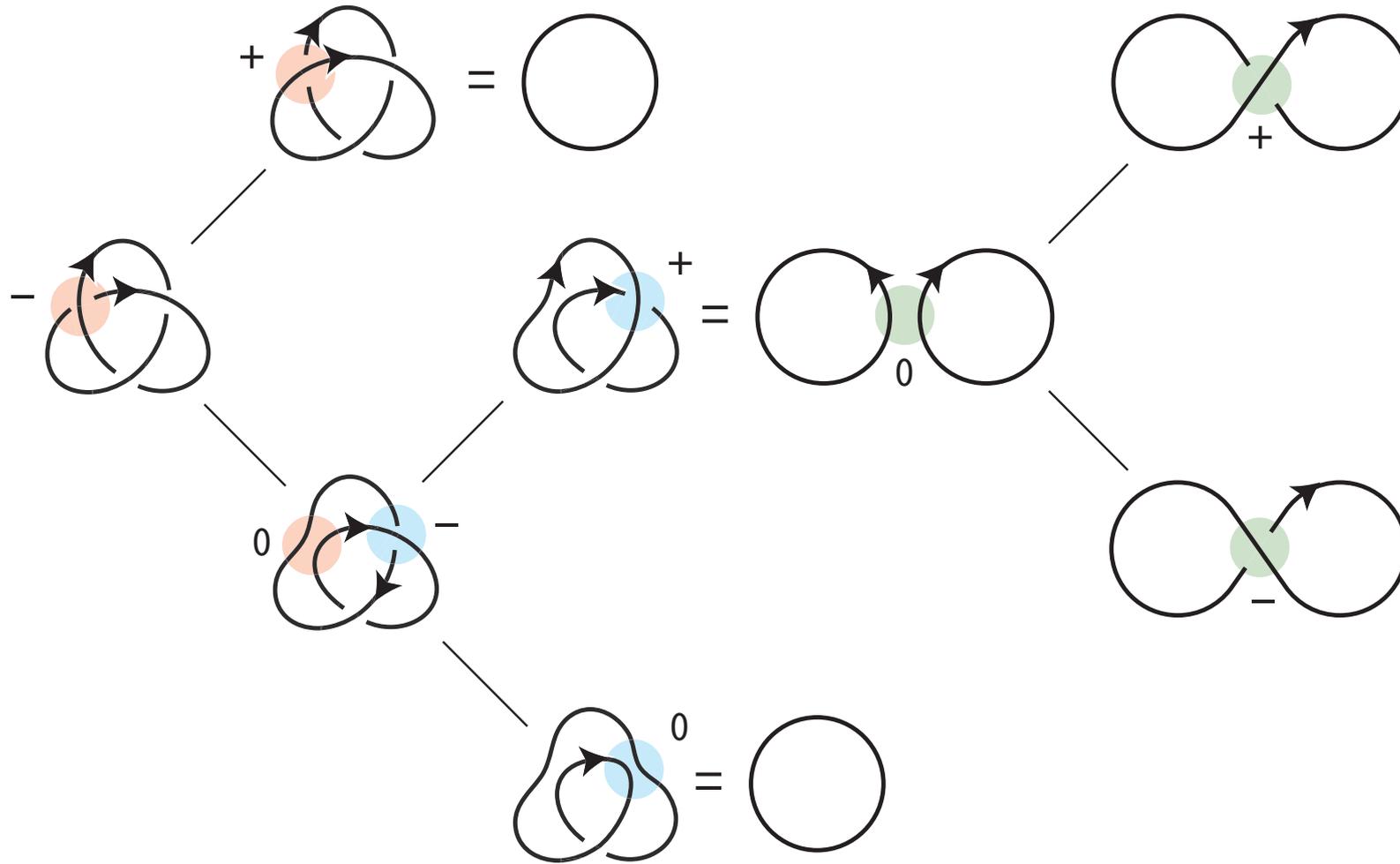
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



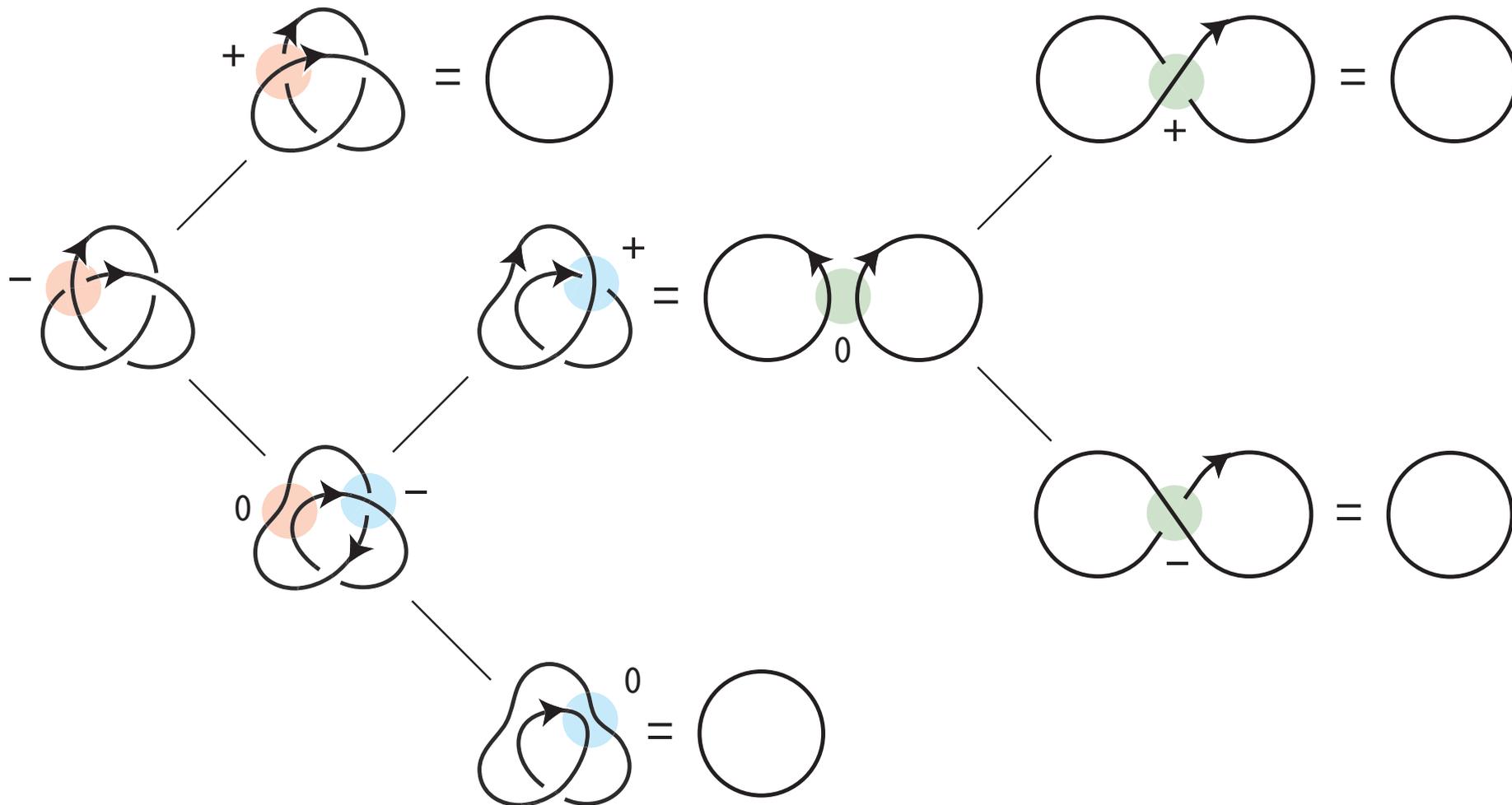
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



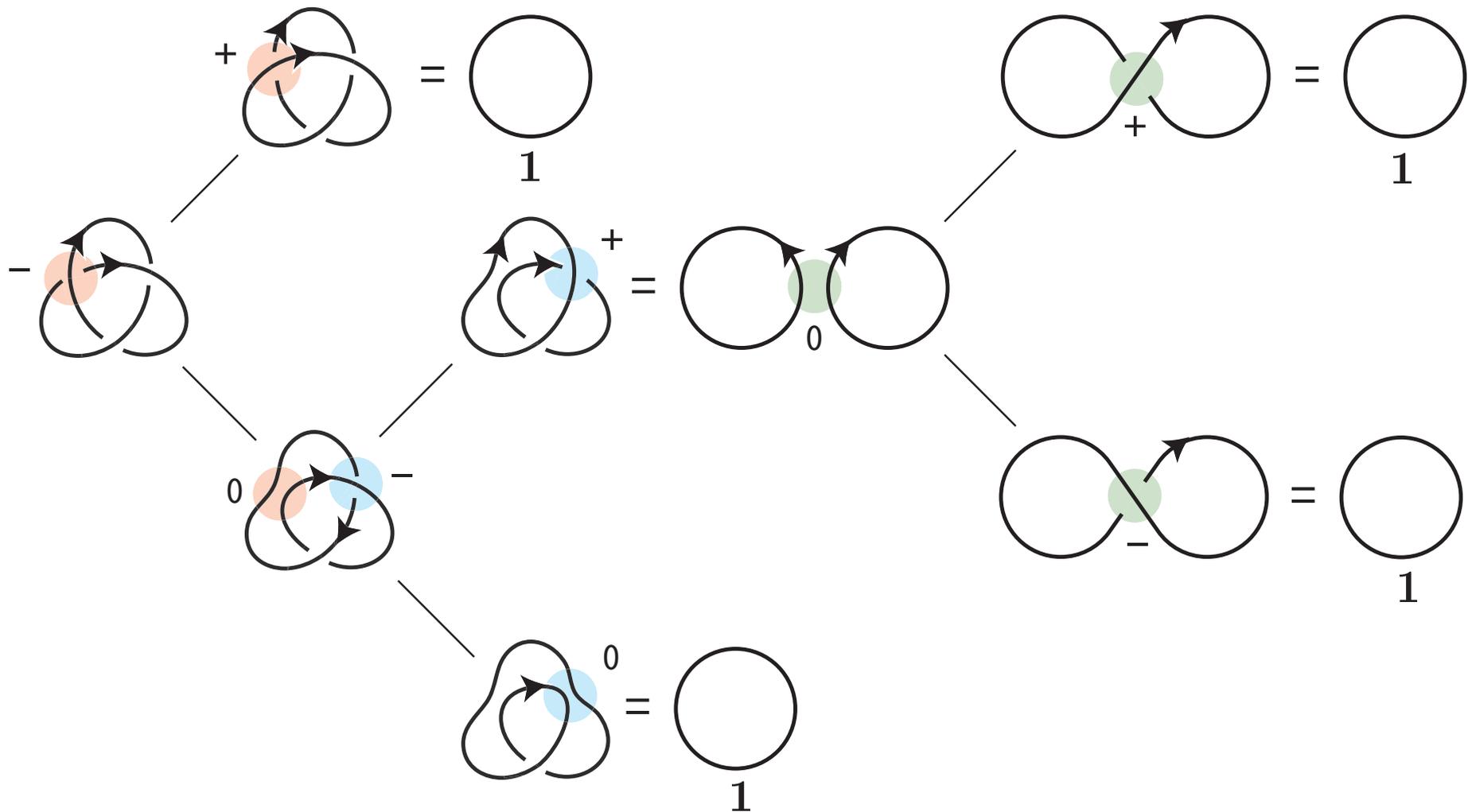
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



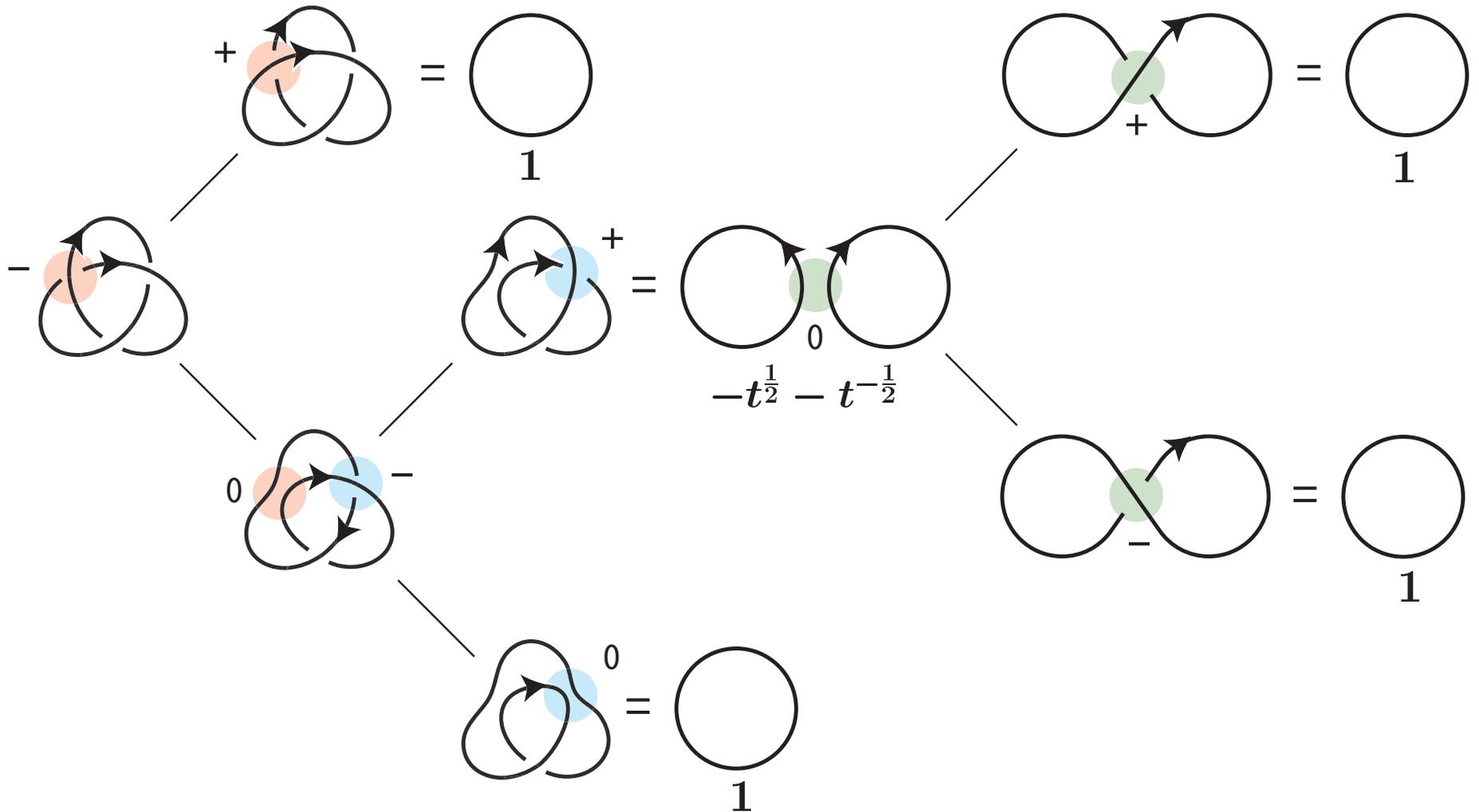
# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

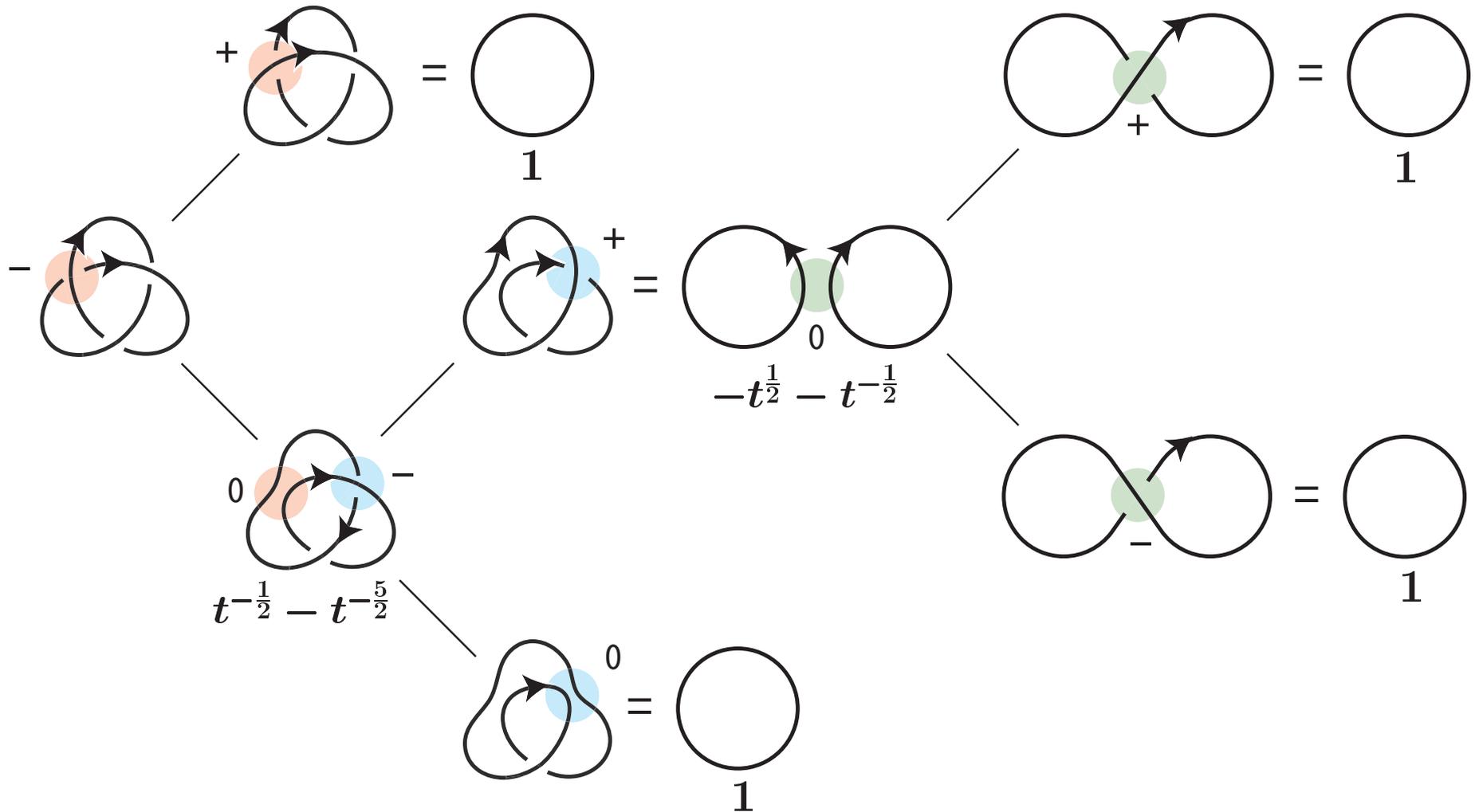
●  $V_o(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



$$(t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{o \cup o} = t^{-1} - t$$

# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

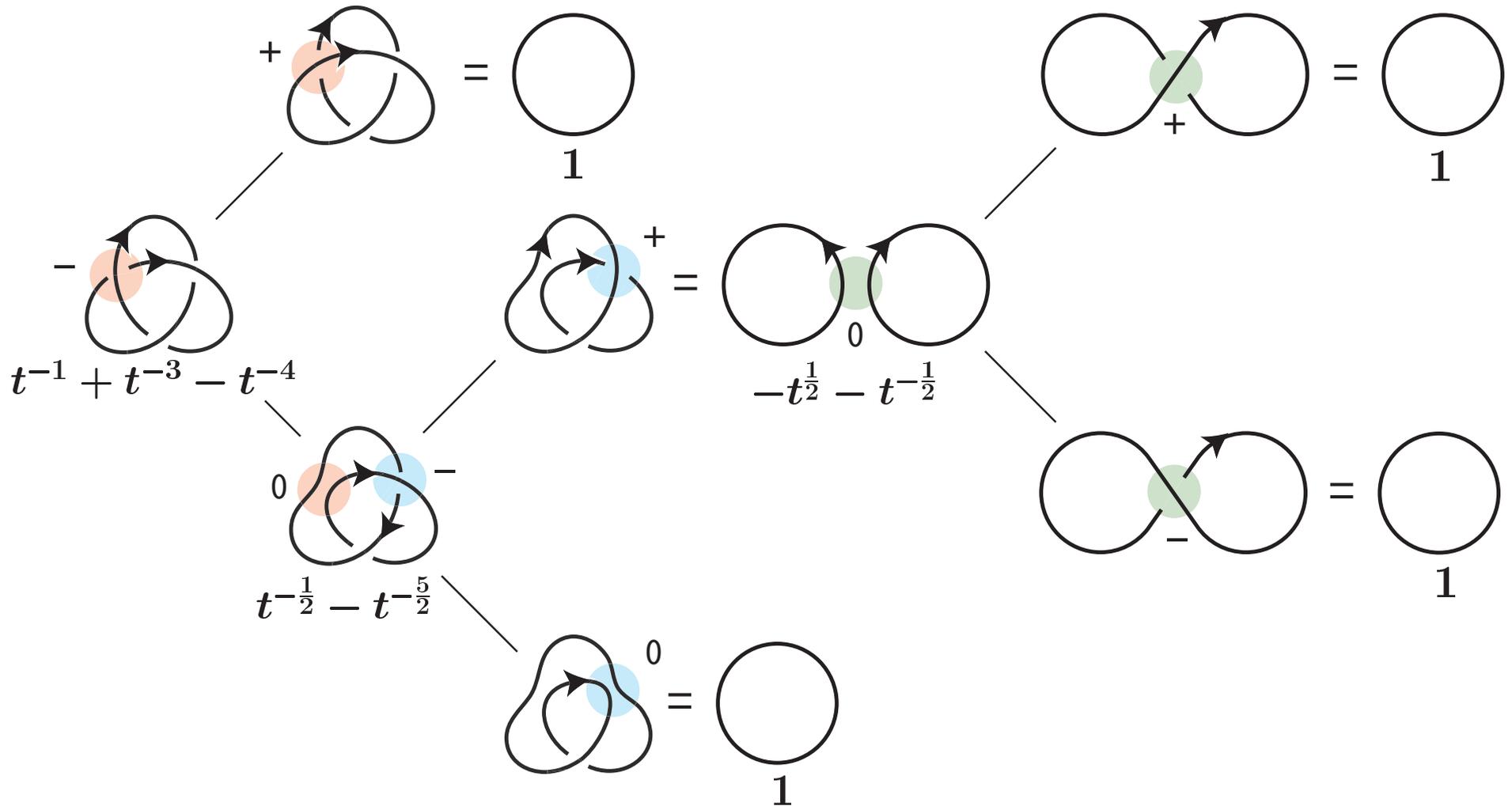
●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



$$V(t) = t^{-1} \left\{ t^{-1} (-t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}}) - (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}}) \cdot 1 \right\}$$

# ひとえ結び目のジョーンズ多項式

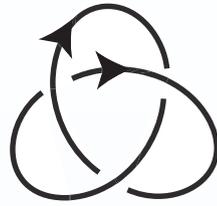
●  $V_0(t) = 1$  &  $t^{-1}V_{L_+}(t) - tV_{L_-}(t) = (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})V_{L_0}(t)$



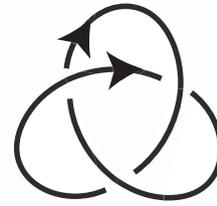
$$V_{\text{-trefoil}}(t) = t^{-1} \left\{ t^{-1} \cdot 1 - (t^{\frac{1}{2}} - t^{-\frac{1}{2}})(t^{-\frac{1}{2}} - t^{-\frac{5}{2}}) \right\}$$

# ジョーンズ多項式での結び目判定

ひとえ結び目とその鏡像



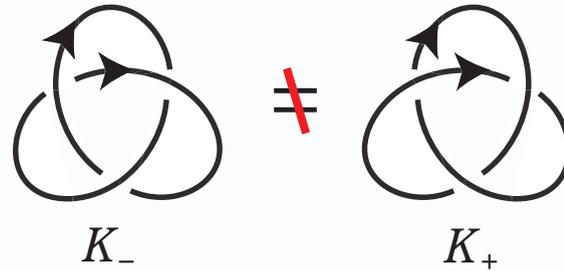
$K_-$



$K_+$

# ジョーンズ多項式での結び目判定

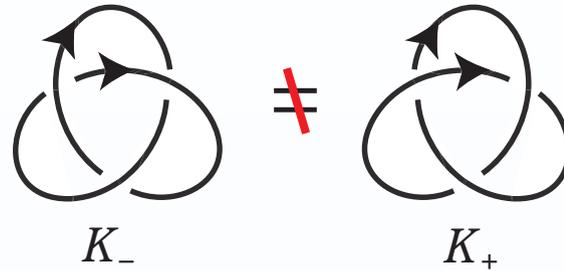
- ひとえ結び目とその鏡像は違う！



- $V_{K_-}(t) = -t^{-4} + t^{-3} + t^{-1} \neq V_{K_+}(t) = -t^4 + t^3 + t$

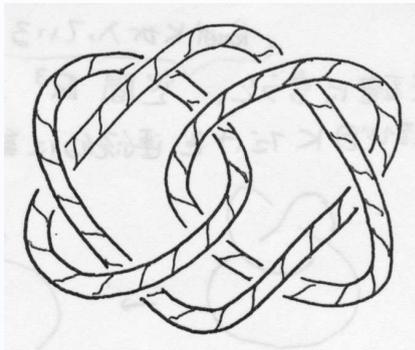
# ジョーンズ多項式での結び目判定

- ひとえ結び目とその鏡像は違う！

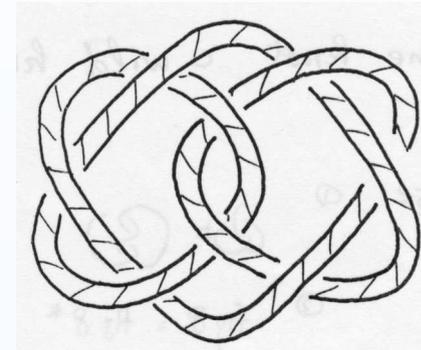


- $V_{K_-}(t) = -t^{-4} + t^{-3} + t^{-1} \neq V_{K_+}(t) = -t^4 + t^3 + t$

- 真実の愛の結び目と偽りの愛の結び目



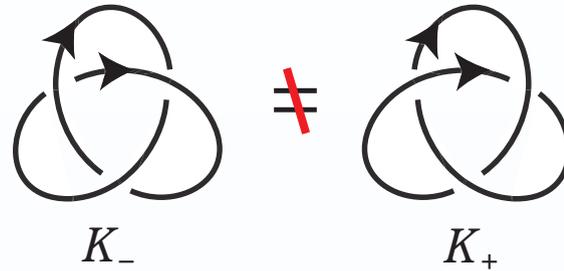
真実の愛の結び目 TL



偽りの愛の結び目 FL

# ジョーンズ多項式での結び目判定

- ひとえ結び目とその鏡像は違う！



- $V_{K_-}(t) = -t^{-4} + t^{-3} + t^{-1} \neq V_{K_+}(t) = -t^4 + t^3 + t$

- 真実の愛の結び目と偽りの愛の結び目は違う！



真実の愛の結び目 TL

偽りの愛の結び目 FL

- $V_{TL}(t) = t^3 + t^5 - t^8$   
 $\neq V_{FL}(t) = 1 - t + 3t^2 - 3t^3 + 3t^4 - 4t^5 + 3t^6 - 2t^7 + t^8$

# 他分野との関連～3次元多様体

● 日本数学会内での結び目理論の位置  $\subset X$  (トポロジー)  
(I ~ X 中)

# 他分野との関連～3次元多様体

● 日本数学会内での結び目理論の位置  $\subset X$  (トポロジー)  
(I ~ X 中)

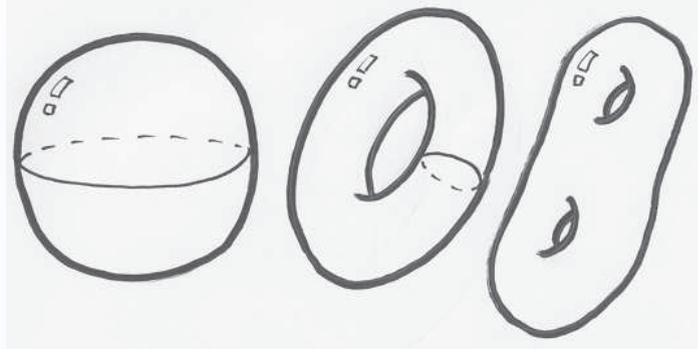
3次元多様体論... トポロジー、幾何学

多様体：(幾何学者にとっての)「空間」(の一つ)。

局所的にみるとどこも(ユークリッド(半)空間と)同じ

# 他分野との関連～3次元多様体

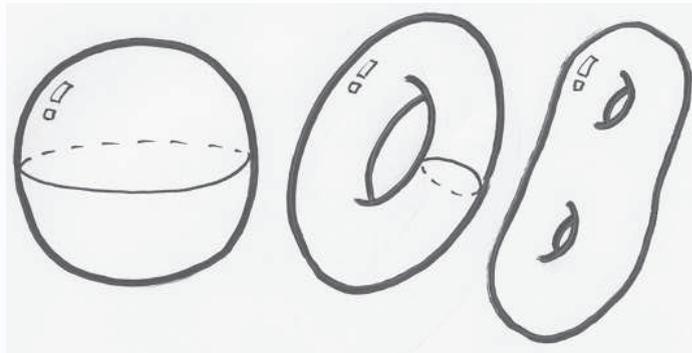
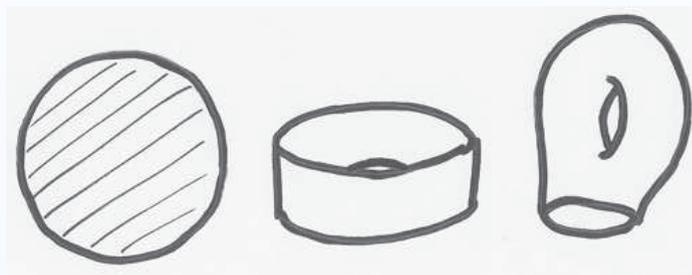
- 多様体：(幾何学者にとっての)「空間」(の一つ)。局所的にみるとどこも(ユークリッド(半)空間と)同じ
- (連結で有界な) 2次元多様体(曲面)の例：

	向き付け可能	向き付け不可能
境界なし		
境界あり		

# 他分野との関連～3次元多様体

多様体：(幾何学者にとっての)「空間」(の一つ)。  
局所的にみるとどこも(ユークリッド(半)空間と)同じ

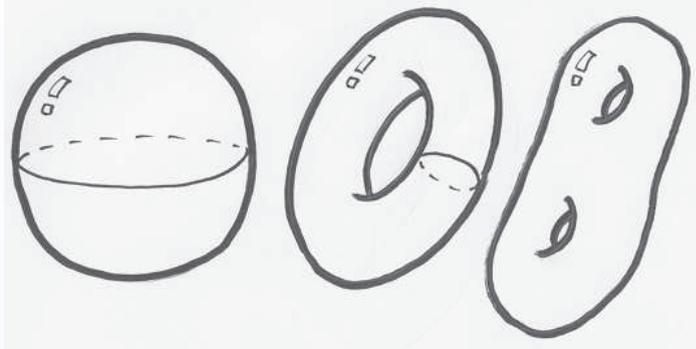
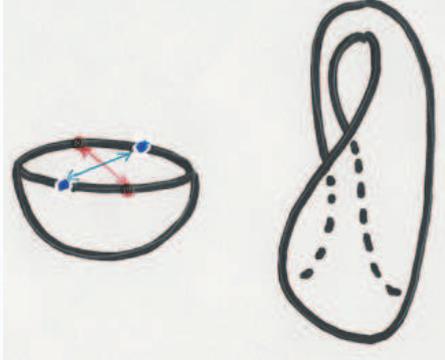
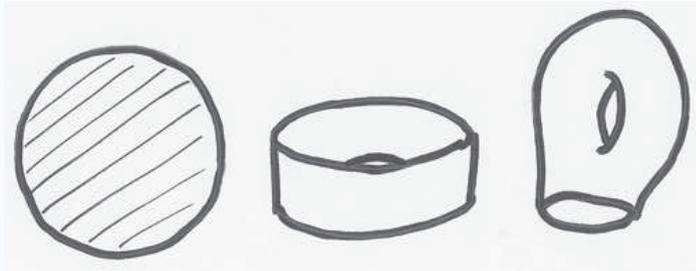
(連結で有界な) 2次元多様体 (曲面) の例：

	向き付け可能	向き付け不可能
境界なし		
境界あり		

# 他分野との関連～3次元多様体

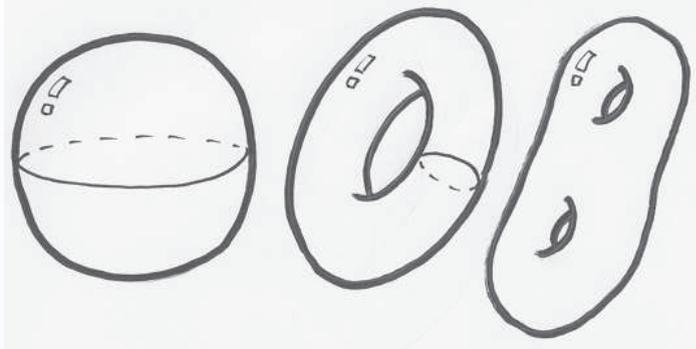
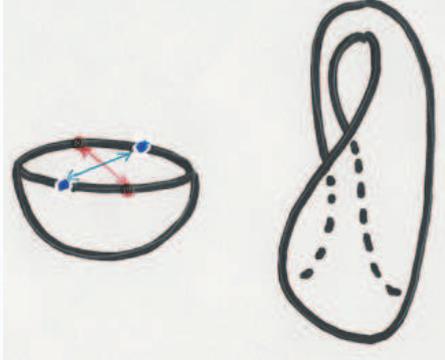
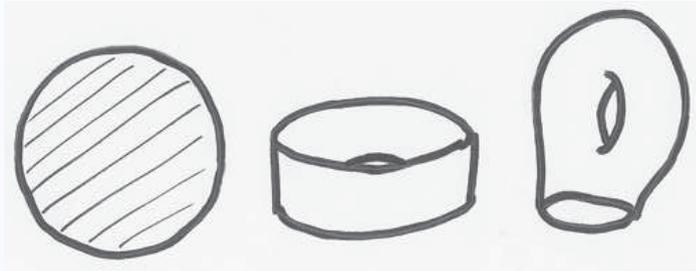
多様体：(幾何学者にとっての)「空間」(の一つ)。  
局所的にみるとどこも(ユークリッド(半)空間と)同じ

(連結で有界な) 2次元多様体 (曲面) の例：

	向き付け可能	向き付け不可能
境界なし		
境界あり		

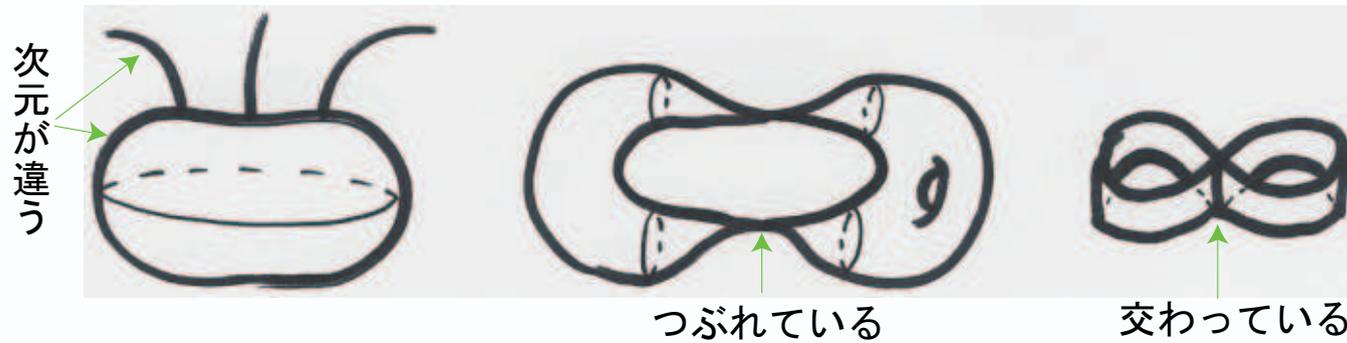
# 他分野との関連～3次元多様体

- 多様体：(幾何学者にとっての)「空間」(の一つ)。  
局所的にみるとどこも(ユークリッド(半)空間と)同じ
- (連結で有界な) 2次元多様体(曲面)の例：

	向き付け可能	向き付け不可能
境界なし		
境界あり		

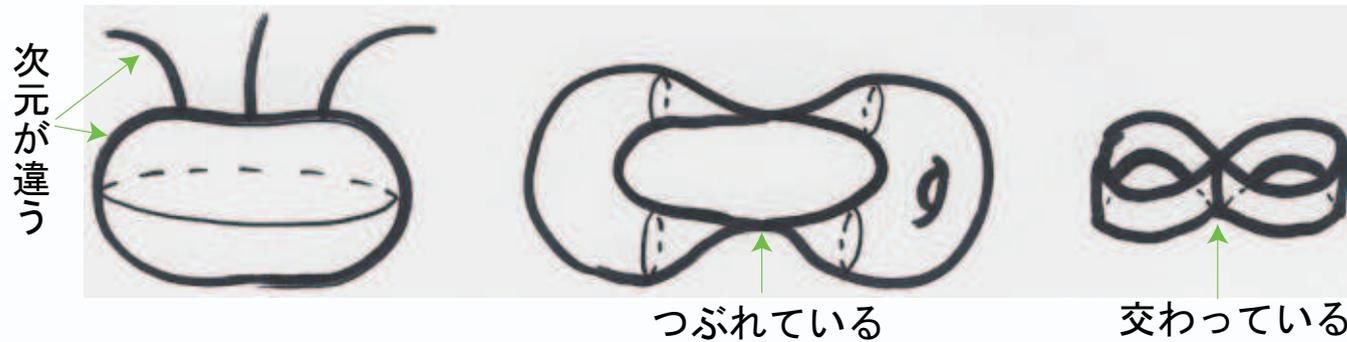
# 多様体と結び目

多様体でない例：



# 多様体と結び目

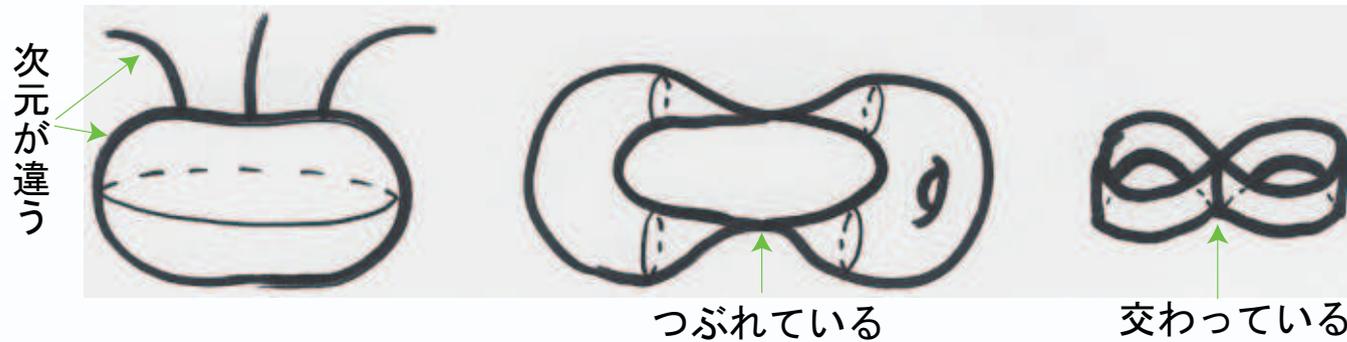
多様体でない例：



多様体と結び目のつながり

# 多様体と結び目

多様体でない例：



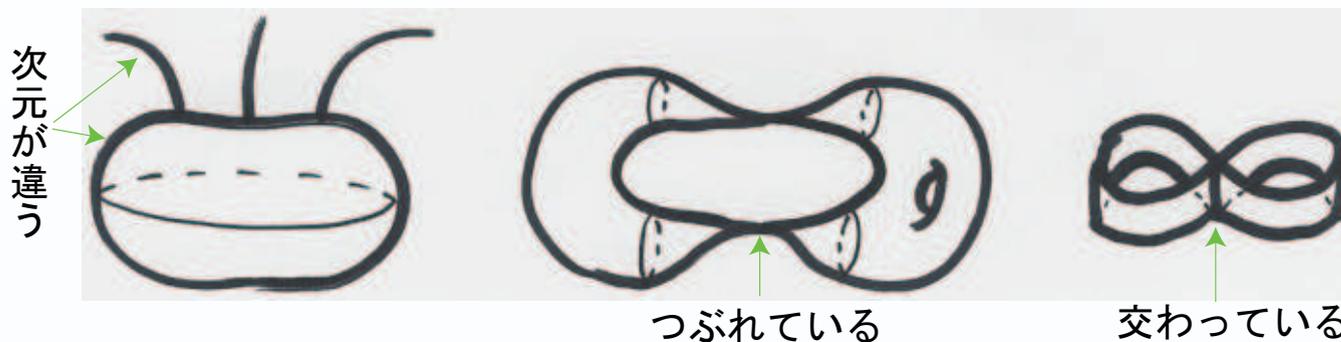
多様体と結び目のつながり

多様体の表わし方

● 絵 … 大体2次元まで

# 多様体と結び目

多様体でない例：



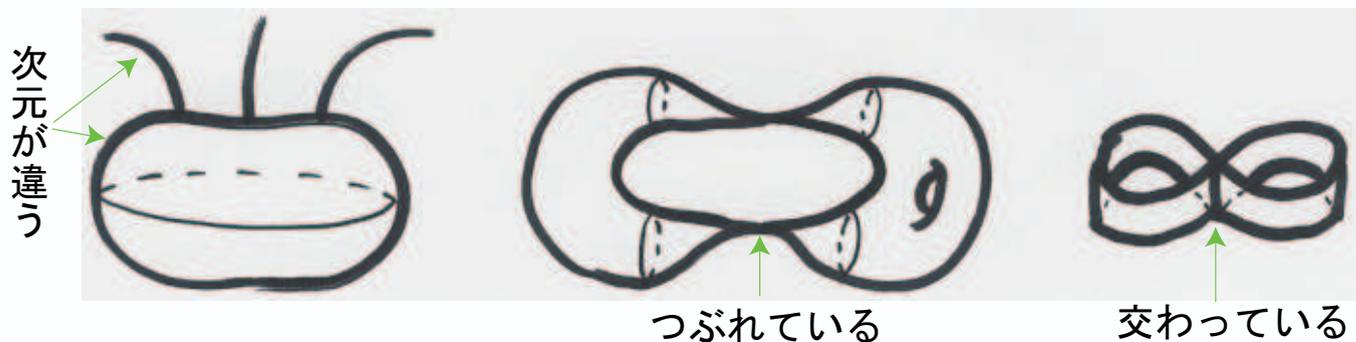
多様体と結び目のつながり

多様体の表わし方

- 絵 … 大体2次元まで
- 式 … 球面とその積など

# 多様体と結び目

多様体でない例：



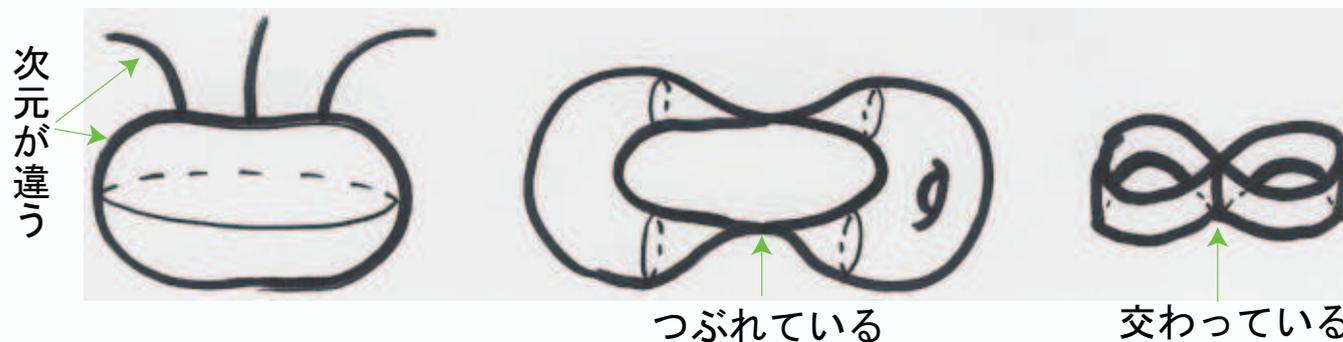
多様体と結び目のつながり

多様体の表わし方

- 絵 … 大体2次元まで
- 式 … 球面とその積など
- 等質空間など

# 多様体と結び目

多様体でない例：



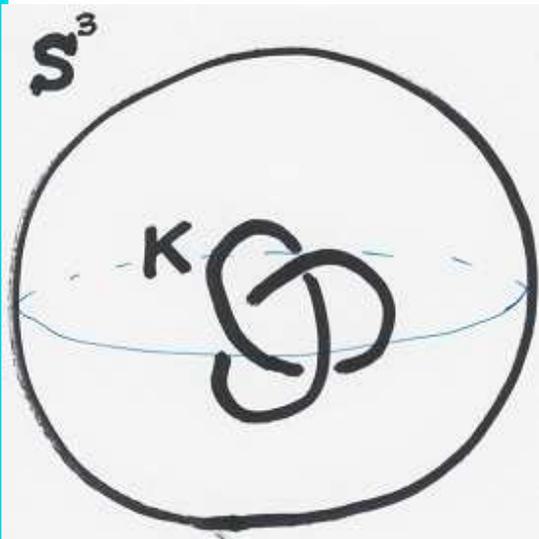
多様体と結び目のつながり

多様体の表わし方

- 絵 … 大体2次元まで
- 式 … 球面とその積など
- 等質空間など
- 切った貼った (cut and paste)、手術

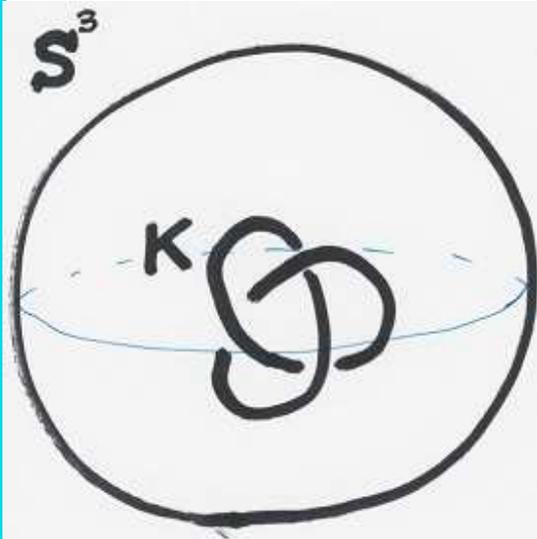
# 切った貼ったで多様体をつくる

- 3次元球面  $S^3$  の結び目  $K$  に沿った手術

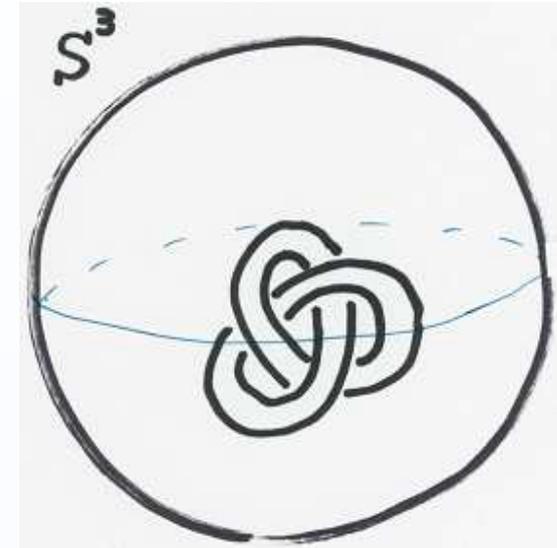


# 切った貼ったで多様体をつくる

## 3次元球面 $S^3$ の結び目 $K$ に沿った手術

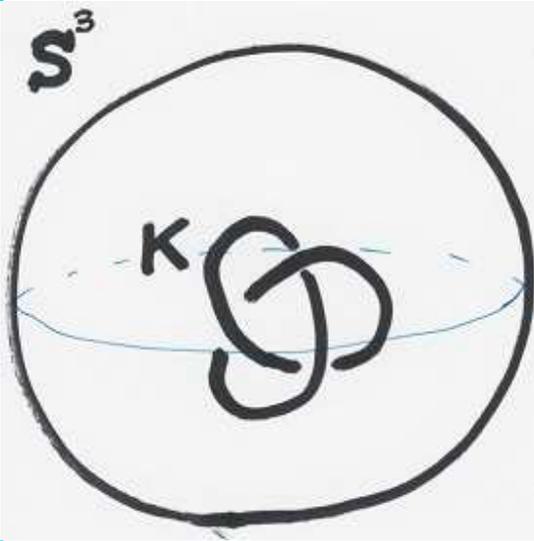


$K$  の管状近傍  
の内部を取り除く。  
この管状近傍は  
位相的には  
ソリッドトーラス。

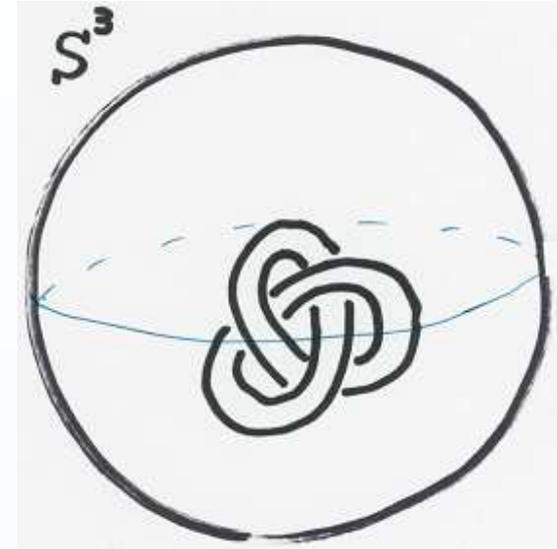


# 切った貼ったで多様体をつくる

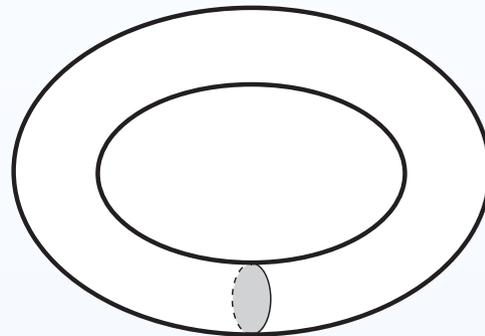
3次元球面  $S^3$  の結び目  $K$  に沿った手術



$K$  の管状近傍  
の内部を取り除く。  
この管状近傍は  
位相的には  
ソリッドトーラス。

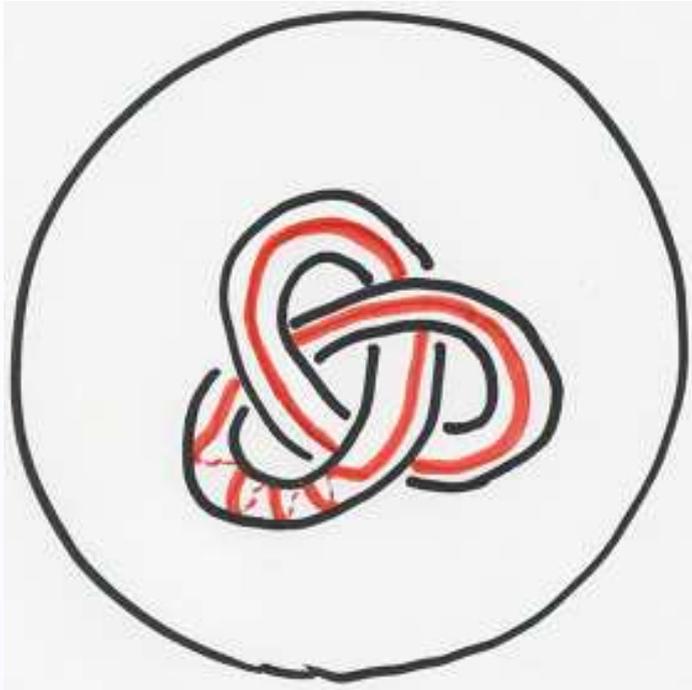


$S^3$  から  $K$  の管状近傍の内部を取り除いたものと別の  
ドーナッツを、表面のトーラスでくっつける。

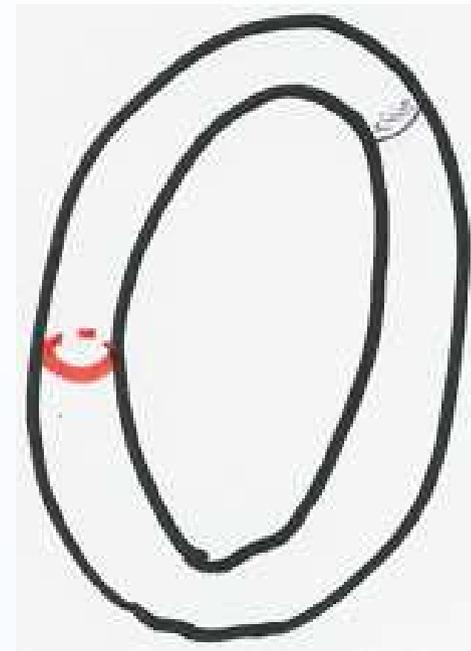


# 結び目に沿った3次元球面の手術

●  $S^3$  から  $K$  の管状近傍の内部を取り除いたものと別のドーナッツを、表面のトーラスで、赤い線同士がぴったりかさなるように、貼り合わせる。

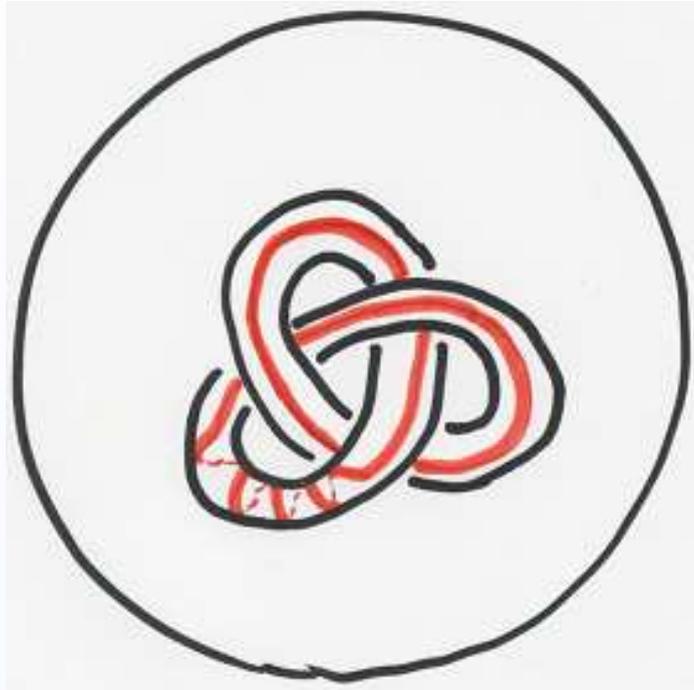


∪

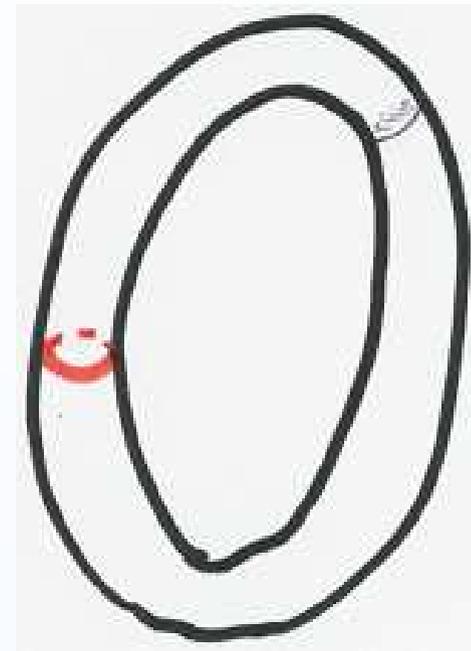


# 結び目に沿った3次元球面の手術

- $S^3$  から  $K$  の管状近傍の内部を取り除いたものと別のドーナッツを、表面のトーラスで、赤い線同士がぴったりかさなるように、貼り合わせる。



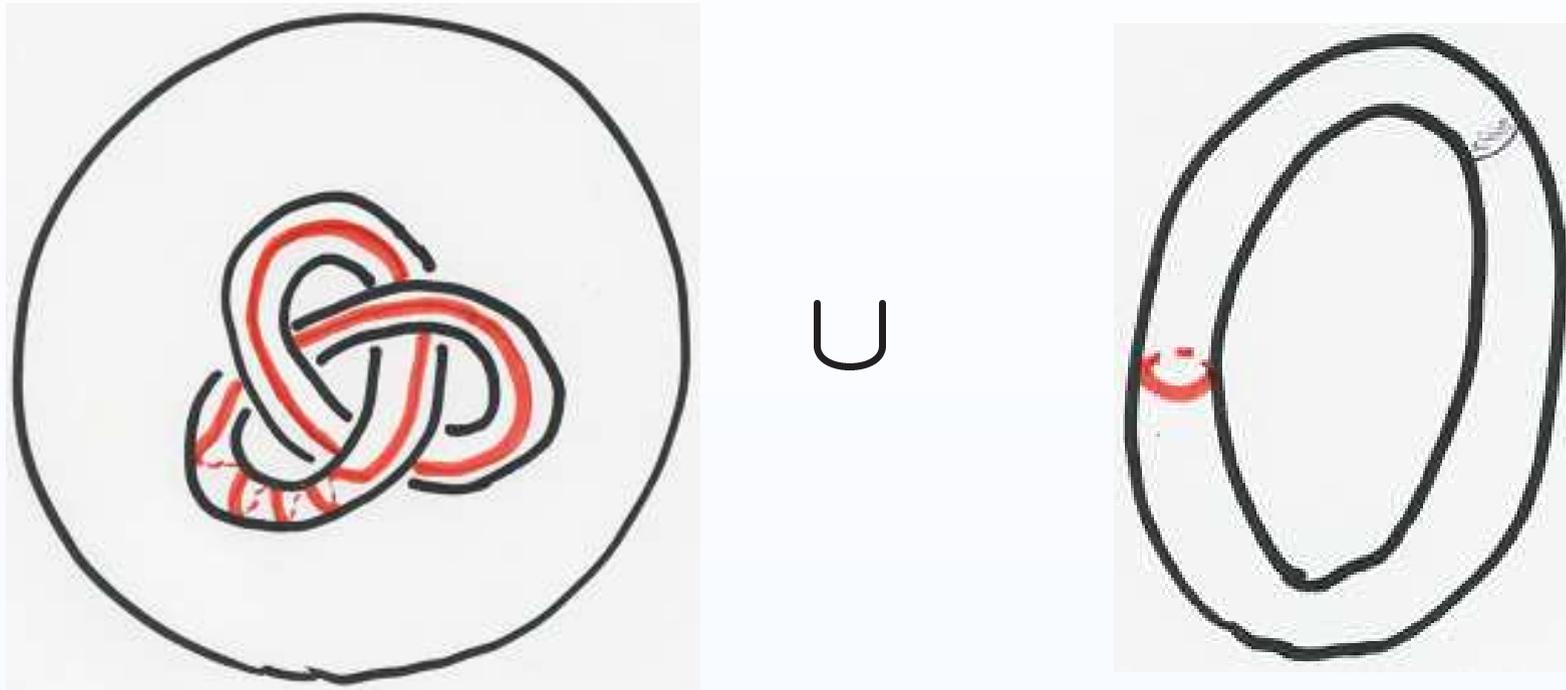
∪



- 別の多様体ができる。

# 結び目に沿った3次元球面の手術

- $S^3$  から  $K$  の管状近傍の内部を取り除いたものと別のドーナッツを、表面のトーラスで、赤い線同士がぴったりかさなるように、貼り合わせる。



- 別の多様体ができる。
- 3次元球面から、結び目、絡み目に沿った手術で、(ある条件を満たす) 任意の多様体を得られる。

# 他分野との関連

## ● 作用素環 (ジョーンズ)

# 他分野との関連

- 作用素環 (ジョーンズ)
- 統計力学 (分配関数、ヤン・バクスター関係式など)

# 他分野との関連

- 作用素環 (ジョーンズ)
- 統計力学 (分配関数、ヤン・バクスター関係式など)
- 結び目と素数 (森下昌紀氏 (九州大学))

# 他分野との関連

- 作用素環 (ジョーンズ)
- 統計力学 (分配関数、ヤン・バクスター関係式など)
- 結び目と素数 (森下 昌紀氏 (九州大学))
- 幾何学的結び目理論: 結び目の形の複雑さをはかり、きれいな形を求める (結び目のエネルギー、共形幾何学、ideal knots、平均交点数、etc)

# 他分野との関連

- 作用素環 (ジョーンズ)
- 統計力学 (分配関数、ヤン・バクスター関係式など)
- 結び目と素数 (森下 昌紀氏 (九州大学))
- 幾何学的結び目理論: 結び目の形の複雑さをはかり、きれいな形を求める (結び目のエネルギー、共形幾何学、ideal knots、平均交点数、etc)
- 高分子科学、DNA

# 高分子科学

- ポリマーが結び目になっていると、物質の性質（硬さなど）が変わることがあるらしい。

# 高分子科学

- ポリマーが結び目になっていると、物質の性質（硬さなど）が変わることがあるらしい。
- **予想** (Frisch-Wasserman-Delbruck) 環状ポリマーが長くなると、（非自明な）結び目になる確率が **1** になる。

# 高分子科学

- ポリマーが結び目になっていると、物質の性質（硬さなど）が変わることがあるらしい。
- **予想** (Frisch-Wasserman-Delbruck) 環状ポリマーが長くなると、(非自明な) 結び目になる確率が **1** になる。
- 数値実験で、ランダムに結び目を発生させ、どの結び目型がどのような確率で現れるか、という研究がある。
  - 立方格子上のランダムウォーク
  - 自己交叉しない折れ線

# DNA

## ● デオキシリボ核酸

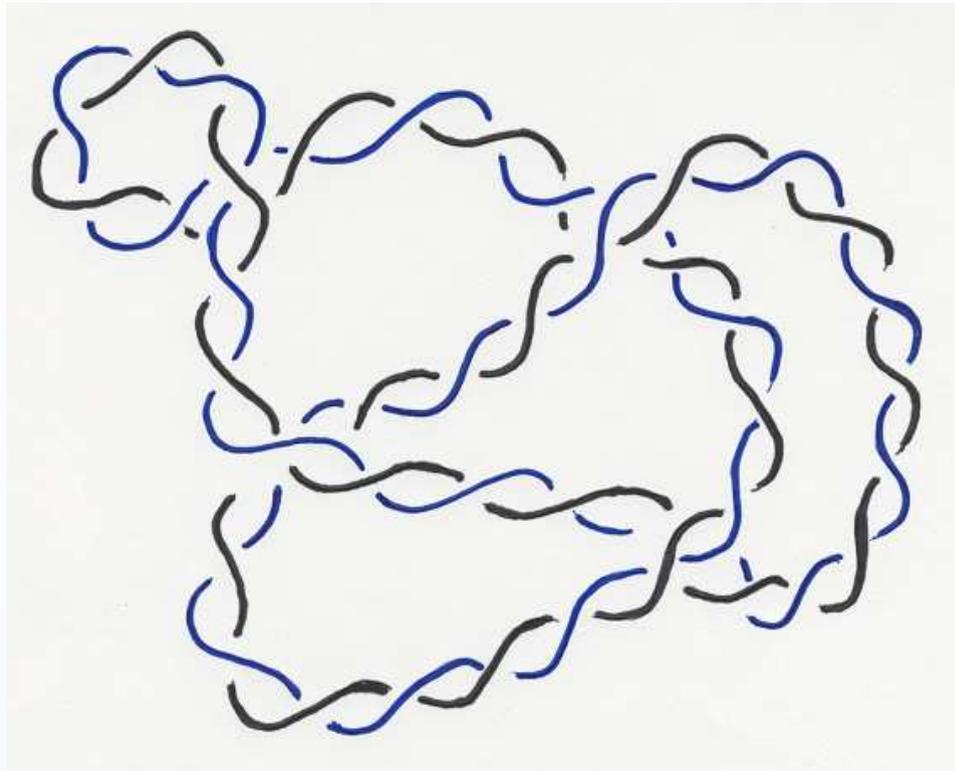
# DNA

- デオキシリボ核酸
  - 二重らせん構造

# DNA

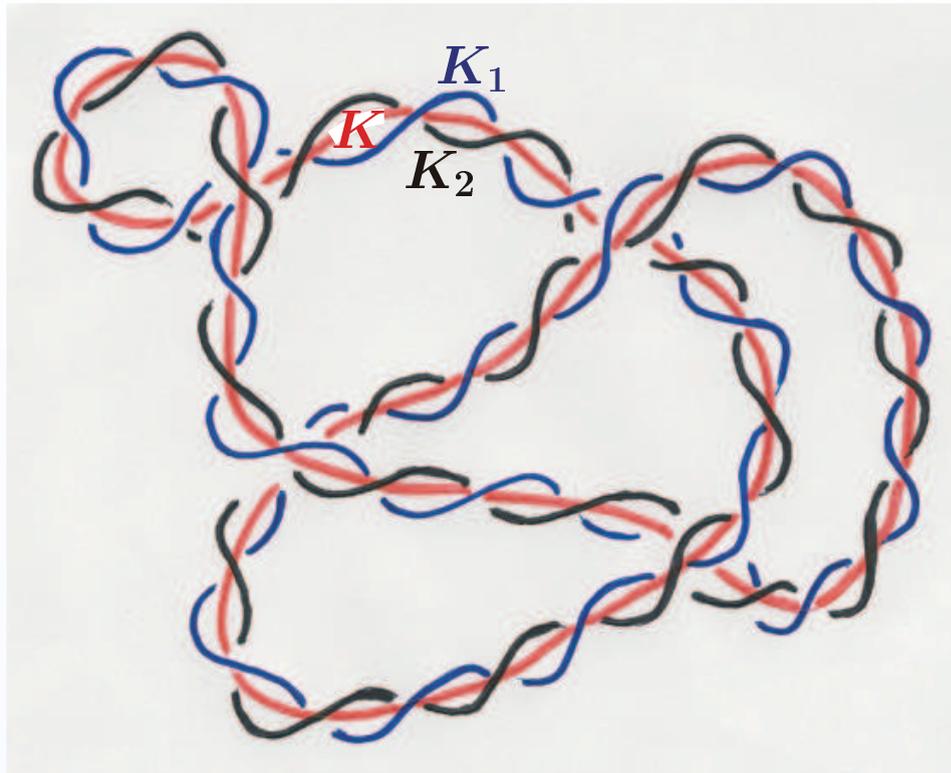
## デオキシリボ核酸

- 二重らせん構造
- 環状、つまり結び目になっていることがある。



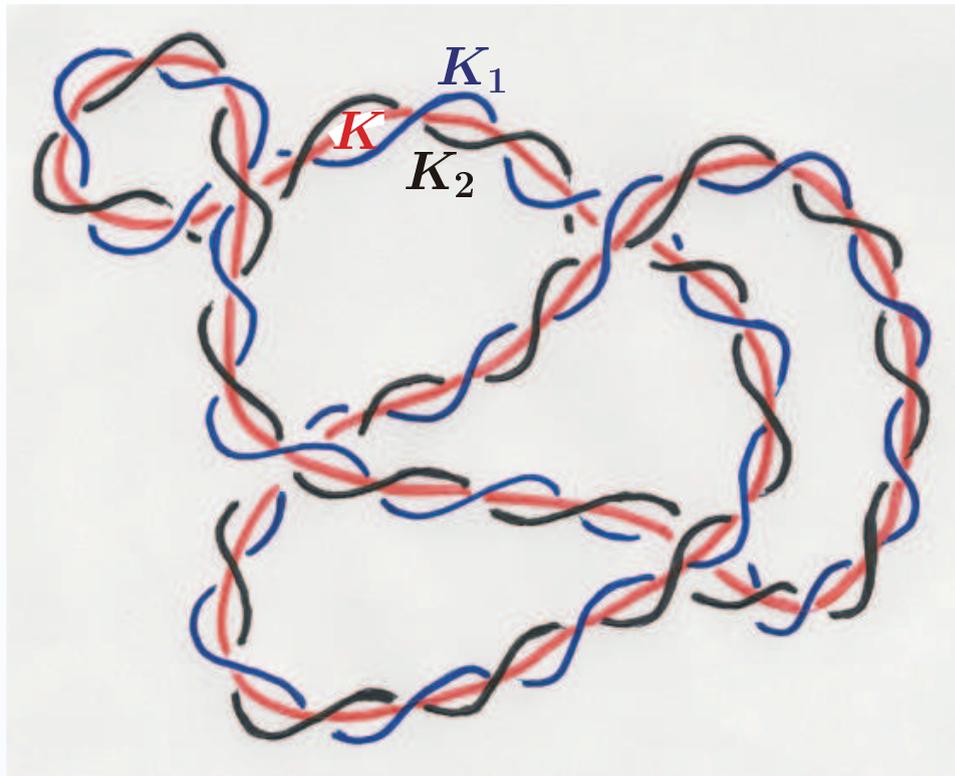
# 二重らせん

- 2本の結び目を  $K_1, K_2$  コアを  $K$  とする :



# 二重らせん

2本の結び目を  $K_1, K_2$  コアを  $K$  とする :



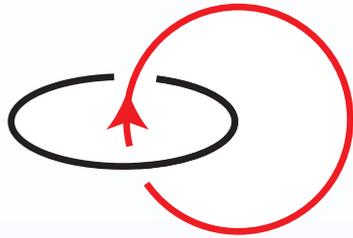
$K_1$  と  $K_2$  の絡み数を  $Lk$ 、ねじれ数を  $Tw$ 、 $K$  のライジング数 (writhe) を  $Wr$  とすると

$$Lk = Wr + Tw$$

なる等式が成立。

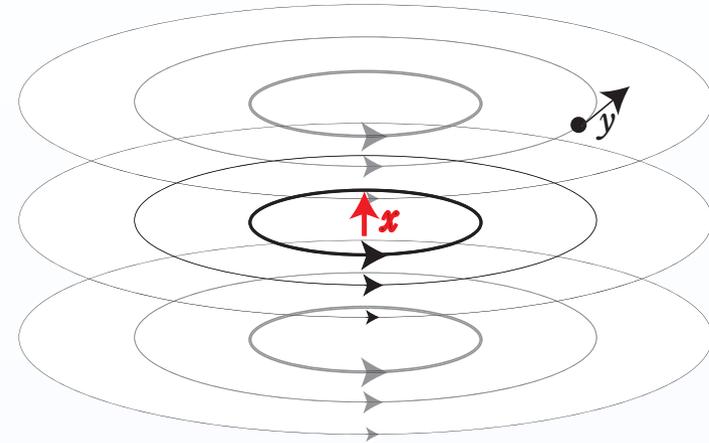
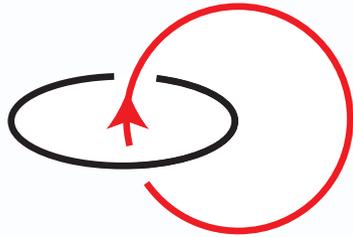
# 絡み数のガウスの積分公式

- 赤いループ  $C_2$  に電流が流れているとする。



# 絡み数のガウスの積分公式

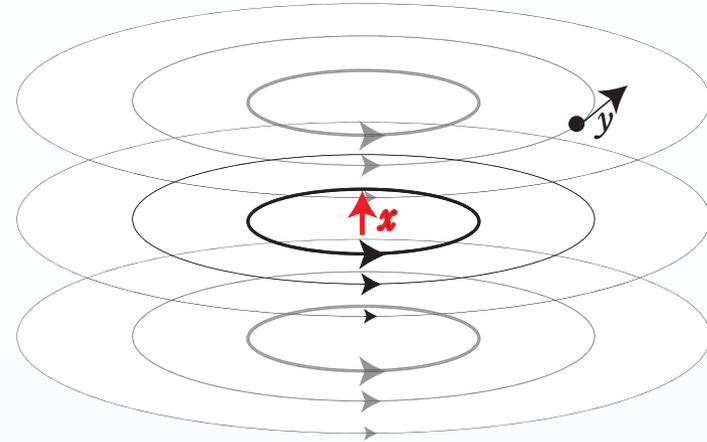
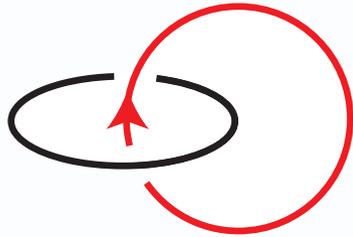
- 赤いループ  $C_2$  に電流が流れているとする。



- ビオ・サバールの法則：点  $y$  での磁場  $dH = \frac{j dl \times r}{4\pi|r|^3}$   
 $j dl$  : 点  $x$  での電流要素、 $r = y - x$

# 絡み数のガウスの積分公式

- 赤いループ  $C_2$  に電流が流れているとする。



- ビオ・サバールの法則：点  $y$  での磁場  $dH = \frac{j dl \times r}{4\pi |r|^3}$

$j dl$  : 点  $x$  での電流要素、 $r = y - x$

- 黒いループ  $C_1$  上積分すると、

$$\frac{1}{4\pi} \int_{C_1} \int_{C_2} \frac{(y - x) \cdot (dx \times dy)}{|y - x|^3}$$

$C_1$  と  $C_2$  の絡み数  $Lk(C_1, C_2)$ 。

# ガウス積分公式から派生するもの

- $$Lk(C_1, C_2) = \frac{1}{4\pi} \int_{C_1} \int_{C_2} \frac{(y - x) \cdot (dx \times dy)}{|y - x|^3}$$

# ガウス積分公式から派生するもの

- $Lk(C_1, C_2) = \frac{1}{4\pi} \int_{C_1} \int_{C_2} \frac{(y - x) \cdot (dx \times dy)}{|y - x|^3}$

- 上の式で  $C_1 = C_2$  としたものが  $C_1$  のライジング数 :

$$Wr(C_1) = \frac{1}{4\pi} \iint_{C_1 \times C_1 \setminus \Delta} \frac{(y - x) \cdot (dx \times dy)}{|y - x|^3}$$

ただし  $\Delta = \{(x, x) | x \in C_1\}$

# ガウス積分公式から派生するもの

- $Lk(C_1, C_2) = \frac{1}{4\pi} \int_{C_1} \int_{C_2} \frac{(y - x) \cdot (dx \times dy)}{|y - x|^3}$

- 上の式で  $C_1 = C_2$  としたものが  $C_1$  のライジング数 :

$$Wr(C_1) = \frac{1}{4\pi} \iint_{C_1 \times C_1 \setminus \Delta} \frac{(y - x) \cdot (dx \times dy)}{|y - x|^3}$$

ただし  $\Delta = \{(x, x) | x \in C_1\}$

- 更に上の式で絶対値をつけたものが平均交点数 :

$$AC(C_1) = \frac{1}{4\pi} \iint_{C_1 \times C_1 \setminus \Delta} \frac{|(y - x) \cdot (dx \times dy)|}{|y - x|^3}$$

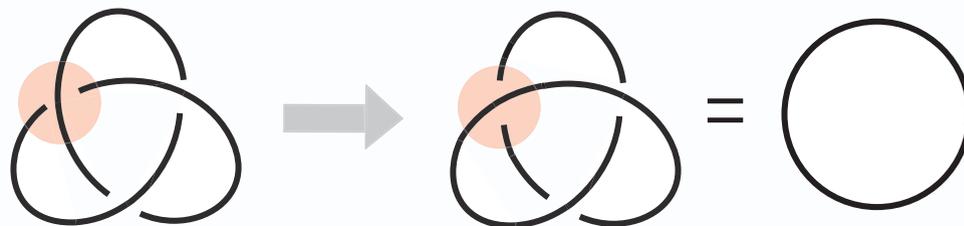
$C_1$  の複雑さをはかる量。

# DNA結び目

トポイソメラーゼ：DNA切断し再結合する酵素

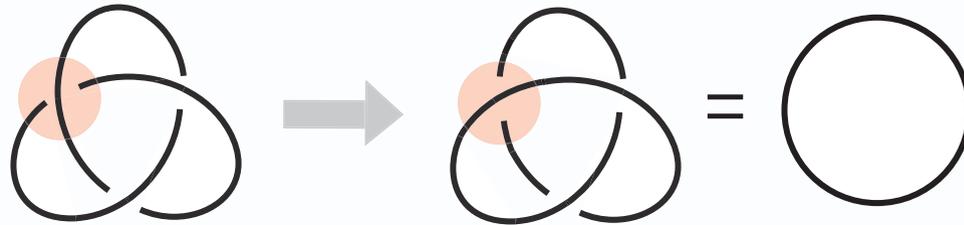
# DNA結び目

- トポイソメラーゼ：DNA切断し再結合する酵素
- 図式の交点の上下が逆になることがある



# DNA結び目

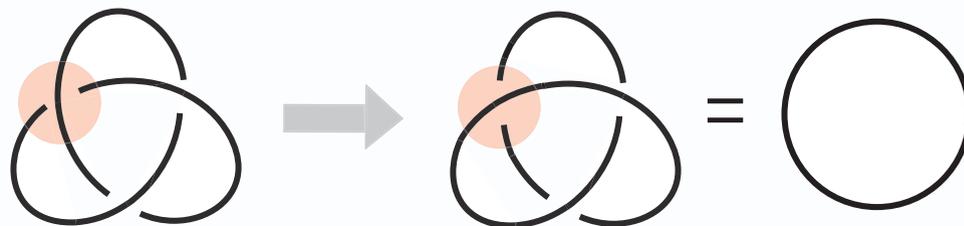
- トポイソメラーゼ：DNA切断し再結合する酵素
- 図式の交点の上下が逆になることがある



結び目が変わることがある

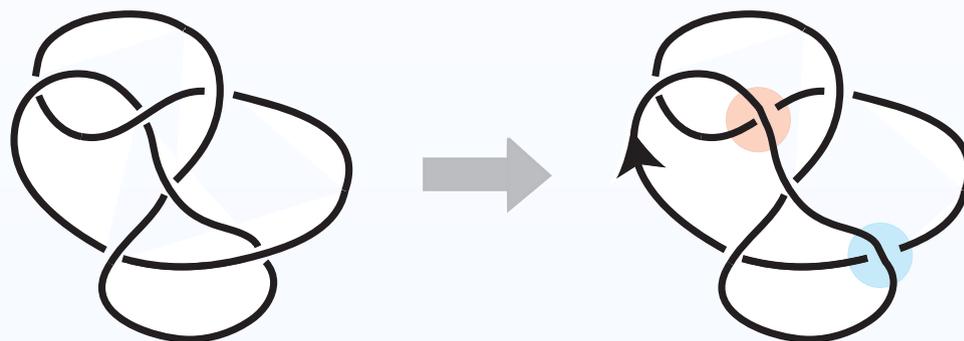
# DNA結び目

- トポイソメラーゼ：DNA切断し再結合する酵素
- 図式の交点の上下が逆になることがある



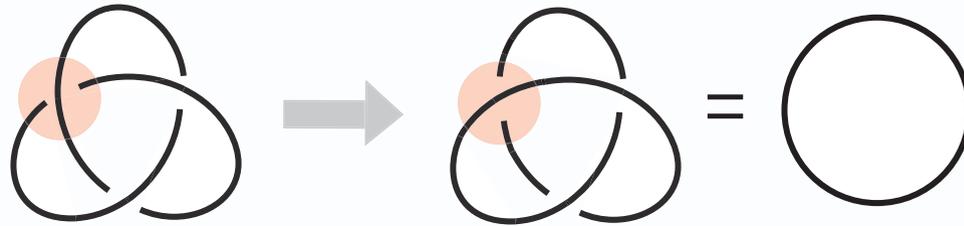
結び目が変わることがある

- どんな結び目も、その図式の交点の上下をいくつか変えれば、自明な結び目に行うことができる。



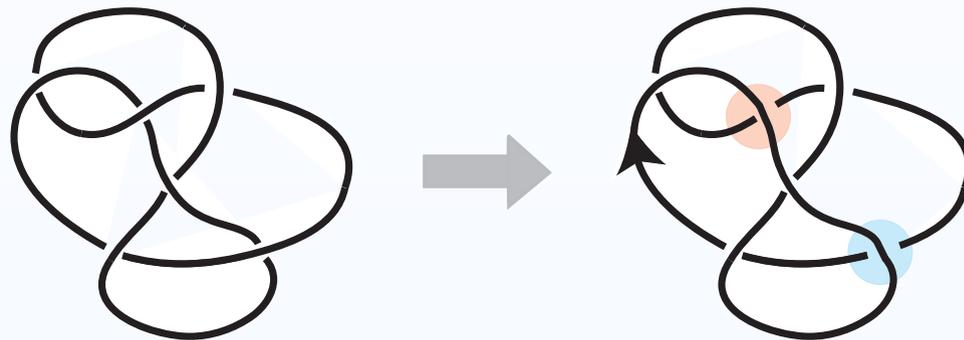
# DNA結び目

- トポイソメラーゼ：DNA切断し再結合する酵素
- 図式の交点の上下が逆になることがある



結び目が変わることがある

- どんな結び目も、その図式の交点の上下をいくつか変えれば、自明な結び目に行うことができる。



- そのような数の最小値を、その結び目の**結び目解消数**という。・・・**結び目理論**

# 結びの言葉

- 結び目理論はこれからどこへ行くのか？

# 結びの言葉

- 結び目理論はこれからどこへ行くのか？
- どの分野が結び目理論に新たな驚きを与えるのか？

# 絡んだ粘土製手錠のはずしかた

紐ではなくて粘土、というところがみそです。  
外れている状態から考えた方が名案がでますが：

